

事業報告

令和3年度

もっと楽しく

もっと美味しく

もっと美しく

社会福祉法人
百合の会

オニオシコート

令和3年度 事業報告

令和3年度事業は、平成30年12月(2019.12)から発症した新型コロナウイルス(COVID-19)も3年が経過いたしました。感染予防・対策を行い職員協力のもと、施設内への感染は何とか防止することができました。しかし、今後も感染症対策については施設内感染の防止につとめ、継続してまいります。令和3年の事業の重点事項として在宅事業の業績向上と、特養における令和2年度事業で行われた改修工事(多床室プライバシー化)後の稼働率向上です。法人全体としても人材育成や離職対策の一環として職員研修会や新入職員教育方式の改定に取り組む年度となりました。

【 特養事業部 】 特養・短期入所介護

過去3年間の実績と比較して、前年度の施設改修による減収を除いては業績の維持向上を行うことができました。持病や体調不良による入院者の増加により稼働率低下の予測から入所にかかわる相談室業務見直しを行い、第3四半期終了時点で年平均稼働率が95%以下になるところを年度末までに95.63%まで回復することができました。また、業務改善の一環として夜勤体制の完全16時間化(それまでは9時間夜勤と16時間夜勤との混合)にも取り組み、勤務体制を5名から6名にして職員の負担軽減を目的とした体制作りをおこないました。それにかかわる人件費の増加は、稼働率を96%以上する事と、新たに加わる特定処遇改善補助金を財源として行ないます。入居者様の処遇についてはコロナ禍による影響で施設内行事や面会の制限が続き、パソコンや携帯電話によるご家族との面会等で了承いただく1年となってしまいました。次に施設の改修整備について屋上の防水改修と大浴室ろ過装置更新について日本財団からの施設改修助成金が令和3年度事業として認められ、気象条件や設備調達等に時間はかかりましたが、5月中に終了することをご報告いたします。特養事業部としては、入居者様処遇の向上、人材育成、業務改善と業績維持、人手不足の解消を痛感した事業年度でした。決算として経常利益 1986 万円、資金収支として 343 万円で決算を迎えることができました。

【 在宅事業部門 】

在宅事業部は、R3年度事業の方針として居宅介護支援事業所の業績強化、通所事業所の業績向上、GH 事業所の入居者処遇向上と業務改善、介護予防センターのコロナ禍における予防啓発活動を目標としてまいりました。

居宅介護支援事業所

5年前から業績向上を目指し組織改善を行い、当時と比較して登録者数で 174%、介護収入の 202%増加で業績が向上することができました。また、契約者様へサービス提案型の意識と関係事業所への情報収集、情報提供などを今まで以上に心掛け、要介護、要支援に関係なく関わりを持てるよ

うになりました。また法人内における情報共有にも力を入れ、オニオンコートとしての複数相談員との連携も業務意識の中でおこなうことが定着されました。5年前のケアマネージャー3名体制から現在5名体制に増員したことが新年度はより大きな成果として出ることも予測されます。

通所介護事業所(デイサービス)

コロナ禍による休業を数回経験して、1日10名前後まで減少する経験を幾度としながら前年度と比較して利用者で106%、収入で103%として何とか前年実績を上回ることができました。しかし、年間の予算としては▲35.44%と目標を大きく割っており、コロナ禍における不測の事態にも対応しなければならぬ1年でした。1月以降は緊急事態宣言や、まん延防止措置も解除され、徐々に利用者様もサービス利用を再開されてきたことにより稼働率も60%~70%以上と回復傾向となり新年度への期待となりました。決算としての経常収支は▲434万円となり、業績回復が課題となります。

グループホーム事業所

年度当初より、①稼働率の維持(月間平均17.5名以上) ②入居者様に対する『QOL』の向上 ③業務改善による職員配置の見直しを目標にいたしました。入居待機者の確保や業務改善については引き続き今後の課題となってしまいましたが、業務内容の見直しを行い夜勤体制の16時間化への移行は達成することができました。しかし、年間を通して入居待機者の確保や業務改善による業務内容及び職員配置の見直しを最後まで行うことができませんでした。入居者様に対してもコロナ禍による影響で外出、面会制限等、制約のある日常生活をお願いする形となり、施設内でできる範囲内で楽しんでいただくこととなりました。

介護予防センター

札幌市の委託事業のため、まん延防止法発令時は活動自粛を余儀なくされ、約6か月間対面での活動ができなかったが、ICTを活用したオンラインによる体操教室の継続や書面での通信講座、屋外でのウォーキングなど、コロナ禍だからこそできる活動を推進し、地域との繋がりを切らさないよう努めることができた。今後もウイズコロナ見据えた多種多様な取り組みを提供し対象者の方々が選択できる地域づくりを意識していきます。

令和3年度は各事業部とも新規採用者が集まらず、勤務体制を組むうえで大変苦労した1年でもありました。定着率向上を目指した取組み(施設内研修の強化、新入職員研修の見直し等)もまだまだ内容を濃くして採用者や既存職員に対するモチベーション向上、リーダー職以上の能力研修の確立など課題の残る事業年度でした。新年度も幹部職員を中心とした職員間のコミュニケーション能力向上を中心とした業務改善に取り組んでまいります。そして入居者本位とした介護サービスの提供を継続してまいります。

I 施設概要

1 職員配置状況

(1) 特別養護老人ホーム

令和4年3月31日現在 (単位:人)

職種	施設長	事務員	介護支援専門員	生活相談員	介護職員	看護職員	機能訓練指導員	管理栄養士	医師	調理員	その他	計
基準定数	1	-	1	1	32		1	1	1	-	-	38
常勤	1	3	1	2	37	6	1	1	0	委託	1	53
非常勤	0	0	0	0	10	0	0	0	1	-	3	14
常勤換算	1	3	1	2	47.6		1	1	-	-	-	2.02:1

※ その他は、パート職員(洗濯、喫茶)

(2) 通所介護事業所 一般・介護予防一般型

令和4年3月31日現在 (単位:人)

職種	センター長	生活相談員	介護職員	看護職員	機能訓練指導員	計
基準定数	(1)	1	4	1	(1)	5
常勤	1 (1)	3 (3)	6 (3)	1 (4)	1 (1)	9 (10)
非常勤	0	0	1	0	0	1

※()は兼務

(3) 介護予防センター百合が原

令和4年3月31日現在 (単位:人)

職種	管理者	生活相談員	計
基準定数	(1)	2	2
常勤	(1)	2	2 (1)

※()は兼務

(4) 介護予防センター屯田

令和4年3月31日現在 (単位:人)

職種	管理者	生活相談員	計
基準定数	(1)	2	2
常勤	1 (1)	2(1)	2 (1)

※()は兼務

(5) 居宅介護支援事業所

令和4年3月31日現在 (単位:人)

職種	管理者	介護支援専門員	計
基準定数	(1)	-	-
常勤	1 (1)	5 (1)	5 (1)

※()は兼務

(6) 認知症対応型生活介護事業所（グループホーム）

《かっこう》

令和4年3月31日現在（単位：人）

職 種	管理者	計画作成担当者	介護職員	計	常勤換算
基準定数	1	(1)	3	4	7.2人
常 勤	1 (1)	1 (1)	7 (2)	7 (2)	対入居者比 1.25:1
非 常 勤	0	0	1	1	

※()は兼務

《ゆ り》

令和4年3月31日現在（単位：人）

職 種	管理者	計画作成担当者	介護職員	計	常勤換算
基準定数	1	(1)	3	4	7.8人
常 勤	1 (1)	1 (1)	8 (1)	9 (2)	対入居者比 1.15:1
非 常 勤	0	0	0	0	

※()は兼

2 職員研修実施状況

(1) 施設内研修の状況

令和3年4月1日～令和4年3月31日（単位：人）

開催月日	研修会の名称	担 当	参加職種	参加人数
4/14	・消防設備と点検について 消防設備について理解を深め災害時に備える	廣緒次長	全職種	9名
4/20	・倫理と法令遵守、プライバシー保護について	施設長	全職種	11名
5/末	・高齢者虐待防止 虐待の芽や不適切なケアを自己チェックし 虐待防止に活かす	身体拘束防止・虐待 防止委員会	全職種	80名
6/18	・食中毒について 食中毒の原因・食中毒を防ぐポイントを学ぶ	感染対策委員会	全職種	11名
7/27	・ヒヤリハットについて ヒヤリハット事例	事故防止対策委員会	全職種	11名
8/16	・感染について 感染症対策について	石山部長	全職種	31名
9/3	・褥瘡とは 褥瘡について	褥瘡対策チーム会議	全職種	11名
9/21	・スピーチロック研修	身体拘束防止・虐待 防止委員会	特養	19名
10/7	・アンガーマネージメント 虐待へつながらないためのアンガーマネー ジメント	石山部長	全職種	27名
11/4	・認知症研修 チームケアについて	石山部長	全職種	30名
11/9	・アサーション研修	石山部長	リーダー職以 上	28名
12/2	・消防設備研修 特別養護老人ホームオニオンコート <small>の</small> 消防 設備について	防災・災害対策委員 会	全職種	24名
1/28	・身体拘束について 身体拘束は、高齢者虐待である事を知る	身体拘束廃止・虐待 防止委員会	全職種	10名

2/15	・介護技術研修 無理なく安全に！移乗・移動介助の基本と 留意点	研修委員会	全職種	11名
3/22	・事故防止研修 事故防止対策の方法 職員のルール違反をなくする	事故防止対策委員会	全職種	8名

(2) 施設外研修の状況

令和3年4月1日～令和4年3月31日 (単位：人)

月 日	研 修 名	主 催 団 体	参 加 職 種	人 数
7/21	認知症介護基礎研修	北海道老人福祉施設協議会	特養職員・グループホーム職員	2
10/15	認知症介護基礎研修	サンシャイン総合学園	特養職員	1
11/2	認知症介護基礎研修	サンシャイン総合学園	特養職員	1
11/5	エルダー・メンター制度導入支援 研修	北海道社会福祉協議会	特養職員・通所サービス職員	2
12/9.10	第3回認知症対応型サービス事業 管理者研修	北海道保健福祉部高齢者 支援局	グループホーム 職員	1

※コロナウイルス感染症防止のため、中止が多かった。

3 実習生受入れ状況

令和3年4月1日～令和4年3月31日 (単位：人)

学校等の名称	受入月	実人数	延日数	内 容
北海道福祉大学校 介護福祉士科 2 年生	8月	42名	21日	特養介護実習
北海道福祉大学校 介護福祉士科 1 年生	10月	40名	20日	特養介護実習
合 計		82名	41日	

4 施設来訪者状況

令和3年4月1日～令和4年3月31日 (単位：人)

月	目 的			合 計
	窓越面会	オンライン 面会	その他	
4月	0	15		15
5月	0	15		15
6月	0	14		14
7月	0	22		22
8月	0	18		18
9月	0	16		16
10月	3	20		23
11月	20	18		38
12月	29	14		43
1月	8	20		28
2月	0	14		14
3月	0	24		24
	60	210		270

Ⅱ 部門別事業報告

1 事務管理部門

(1) 方針について

安定した施設運営を目標に、効率よく無駄のない業務を行い、顧客満足の向上を常に考え、他部門へのバックアップ体制を整える。

(2) 年間目標

- ・施設設備、機器、備品などの保守・管理、物品の修理交換、受払いに関し迅速・適切に行えた。
- ・他セクションとの連携を密にし、連絡・報告漏れのないよう適切な業務を今後も継続する。

(3) 年間計画について

- ・理事会、評議員会、監事監査について、計画通り実施する事が出来た。
- ・職員の健康診断、各会議について予定通り実施出来た。
- ・新型コロナウイルスの影響で札幌市防災協会立ち合いの防災訓練を行わず、机上訓練を行った。

(4) 事故・ヒヤリ事故報告

該当なし

(5) 苦情・ヒヤリ苦情、トラブル・ヒヤリトラブル件数報告

該当なし

(6) 活動状況

令和3年4月1日～令和4年3月31日

月	法人関係	施設関係	各種委員会
4		経営運営会議	研修・給食・広報・身体拘束廃止 行事实行・感染対策・安全衛生・事故防止 褥瘡対策・栄養ケア
5	令和2年度決算・事業報告 令和2年度監事監査 理事会	経営運営会議	研修・給食・広報・身体拘束廃止・ 行事实行・感染対策・安全衛生・事故防止 褥瘡対策・栄養ケア・防災災害対策
6	評議員会	経営運営会議	研修・給食・広報・身体拘束廃止 行事实行・感染対策・安全衛生・事故防止 褥瘡対策・栄養ケア
7	理事会	経営運営会議	研修・給食・広報・身体拘束廃止 行事实行・感染対策・安全衛生・事故防止 褥瘡対策・栄養ケア・防災災害対策
8	第1四半期監査	経営運営会議	研修・給食・広報・身体拘束廃止 行事实行・感染対策・安全衛生・事故防止 褥瘡対策・栄養ケア
9		経営運営会議	研修・給食・広報・身体拘束廃止・ 感染対策・安全衛生・事故防止 褥瘡対策・栄養ケア・防災災害対策
10	理事会	職員健康診断 経営運営会議	研修・給食・広報・身体拘束廃止 行事实行・感染対策・安全衛生・事故防止 褥瘡対策・栄養ケア・親睦

11	第2四半期監事監査	経営運営会議	研修・給食・広報・身体拘束廃止・ 行事实行・感染対策・安全衛生・事故防止 褥瘡対策・栄養ケア・防災災害対策
12		経営運営会議	研修・給食・広報・身体拘束廃止 行事实行・感染対策・安全衛生・事故防止 褥瘡対策・栄養ケア
1		経営運営会議 防災訓練	研修・給食・広報・身体拘束廃止 行事实行・感染対策・安全衛生・事故防止 褥瘡対策・栄養ケア・防災災害対策
2	第3四半期監事監査	経営運営会議	研修・給食・広報・身体拘束廃止 行事实行・感染対策・安全衛生・事故防止 褥瘡対策・栄養ケア
3	令和4年度事業計画・収支予算 理事会	経営運営会議 職員健康診断 防災訓練	研修・給食・広報・身体拘束廃止 行事实行・感染対策・安全衛生・事故防止 褥瘡対策・栄養ケア・防災災害対策

2 特養事業部門

1) 生活介護室

・特養2階すずらん・ラベンダーユニット

(1) 処遇方針について

- ・入居者様へのアセスメント・把握を行うことにより、個別ケア実施に取り組めていた。感染対応中の為、ご家族との関わりには制限があったが相談室を通じて入居者様のニーズの把握に努めた。

(2) 処遇目標について

- ・カンファレンスやフロアーケース会議を通じて職員が共通認識を持ちケアプランに沿ったケアを提供できた。
- ・日々の関りの中から個別ケアの実施は出来ていたが、きめ細やかなサービスとして整容・身なりにあった対応等不十分な状況があり今後改善に向けて取り組んでいく。
- ・入居者様の体調変化や事故等、関係セクションへの連絡を速やかに行い適切に対応が行えた。
また、事故やヒヤリハットの評価対応が不十分であった為、同様内容の事故やヒヤリハットにつながったケースもある為今後対応が必要と考える
- ・新人職員のノロ研修及び感染症対応者の研修を日程ごとに分け、新人・中堅職員等平等に研修実施を行えた。
- ・個別誕生会は、感染予防を徹底しながら入居者様に合わせた個別企画の実施を行った。今後も感染予防の徹底を行い実施していく。

(3) 年間計画について

- ・新型コロナウイルスや感染症等の発症により中止や縮小して実施した行事もあるが、概ね実施出来た。

(4) 個別誕生会報告

令和3年4月1日～令和4年3月31日

実施月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
実施 件数	ラベンダー	0	0	3	0	0	0	1	1	0	0	0	4	9
	すずらん	0	3	1	1	1	2	2	1	1	0	3	3	18
	合計	0	3	4	1	1	2	3	2	1	0	3	7	27

(5) 事故・ヒヤリ事故報告 (ショートステイ含む)

① 件数報告

令和3年4月1日～令和4年3月31日

分類別事故報告		発生状況別事故件数		発生場所別件数	
転倒・転落	17	介助中	269	居室	40
ヒヤリ転倒・転落	36	自立動作中	299	食堂	23
けが	12	臥床中	0	浴室	0
ヒヤリけが	3	その他・不明	15	トイレ	7
異食・誤飲	0			廊下	6
ヒヤリ異食・誤飲	2			その他・不明	507
誤薬	4				
ヒヤリ行方不明	1				
爪切り	2				
傷・痣	500				
その他	6				
合 計	583	合 計	583	合 計	583

② 事故内容・結果報告

令和3年4月1日～令和4年3月31日

日時	事故対象者		事故内容	結 果
R3/4	すずらん	入居者	トイレで転倒。	施設賠償の有・ <input type="radio"/> 無
R3/5	すずらん	入居者	ベッドへ移乗時打撲。	施設賠償の有・ <input type="radio"/> 無
R3/5	バンダ-	入居者	自立動作中皮膚変色。	施設賠償の有・ <input type="radio"/> 無
R3/5	バンダ-	入居者	食堂で転倒。	施設賠償の有・ <input type="radio"/> 無
R3/7	すずらん	入居者	更衣時表皮剥離。	施設賠償の有・ <input type="radio"/> 無
R3/7	すずらん	入居者	居室で転倒。	施設賠償の有・ <input type="radio"/> 無
R3/7	すずらん	入居者	自立動作中骨折。	施設賠償の有・ <input type="radio"/> 無
R3/8	すずらん	入居者	他者の薬を誤薬。	施設賠償の有・ <input type="radio"/> 無
R3/8	すずらん	入居者	居室で転倒。	施設賠償の有・ <input type="radio"/> 無
R3/8	すずらん	入居者	トイレ誘導後の対応の不備。	施設賠償の有・ <input type="radio"/> 無
R3/8	すずらん	入居者	他者の薬を誤薬。	施設賠償の有・ <input type="radio"/> 無
R3/8	バンダ-	入居者	足の爪を剥離。	施設賠償の有・ <input type="radio"/> 無
R3/8	バンダ-	入居者	居室で転倒。	施設賠償の有・ <input type="radio"/> 無
R3/8	バンダ-	入居者	食事中誤嚥。	施設賠償の有・ <input type="radio"/> 無
R3/9	すずらん	入居者	介助中バルーン抜去。	施設賠償の有・ <input type="radio"/> 無
R3/9	すずらん	入居者	居室で転倒。	施設賠償の有・ <input type="radio"/> 無
R3/9	バンダ-	入居者	爪切り時裂傷。	施設賠償の有・ <input type="radio"/> 無
R3/10	すずらん	入居者	廊下で転倒。	施設賠償の有・ <input type="radio"/> 無
R3/10	バンダ-	入居者	ベッドより転落。	施設賠償の有・ <input type="radio"/> 無
R3/10	バンダ-	入居者	原因不明の骨折。	施設賠償の有・ <input type="radio"/> 無
R3/11	すずらん	入居者	トイレで転倒。	施設賠償の有・ <input type="radio"/> 無
R3/11	バンダ-	入居者	内服ミス。	施設賠償の有・ <input type="radio"/> 無

R3/11	フアンター	入居者	移乗時打撲。	施設賠償の有・ 
R3/11	すずらん	入居者	爪切り時裂傷。	施設賠償の有・ 
R3/12	すずらん	入居者	手に変色。	施設賠償の有・ 
R3/12	フアンター	入居者	落葉	施設賠償の有・ 
R3/12	すずらん	入居者	居室にて転倒	施設賠償の有・ 
R4/1	フアンター	入居者	食堂で転倒。	施設賠償の有・ 
R4/2	フアンター	入居者	誤ってGE 施行。	施設賠償の有・ 
R4/2	フアンター	入居者	誤ってGE 施行。	施設賠償の有・ 
R4/3	フアンター	入居者	落葉。	施設賠償の有・ 
R4/3	フアンター	入居者	ベッドより転落。	施設賠償の有・ 
R4/3	すずらん	入居者	落葉。	施設賠償の有・ 
R4/3	すずらん	入居者	落葉。	施設賠償の有・ 
R4/3	フアンター	入居者	爪切り時裂傷。	施設賠償の有・ 
R4/3	フアンター	入居者	内服ミス。	施設賠償の有・ 

(6) 苦情・ヒヤリ苦情、トラブル・ヒヤリトラブル件数報告（ショートステイ含む）

① 件数報告

令和3年4月1日～令和4年3月31日

分類別苦情相談件数	件数	内容別苦情相談件数	件数
苦情	0	職員の対応	8
ヒヤリ苦情	0		
トラブル	2		
ヒヤリトラブル	6		
合計	8	合計	8

・特養3階鶴・亀ユニット

(1) 処遇方針について

- ・入居者個々の生活を見つめ、より主体性のある人間らしい生活を送って頂けるよう工夫をこらしたサービスの提供を行う事が出来た。また、感染症対策とともに入居者がより快適に過ごして頂けるような環境整備にも尽力する事が出来た。

(2) 処遇目標について

- ・入居者個々のニーズに応えられるよう、カンファレンスやフロアケース会議において柔軟な話し合いが出来ていた。
- ・業務的な介助になってしまう場面が見られたため、個別ケアの意識をより高め、細やかなサービス提供へと繋げていく必要がある。
- ・入居者が安心して過ごして頂けるよう、言葉遣いや身なりなどの意識を高めより良い環境とすることが出来るよう、職員同士意識して対応した。
- ・ヒヤリハットにおける原因究明とその対策に対し実施できていたが、周知が及ばない場面も見られたため、今後に繋げていく。
- ・新型コロナウイルスの影響により地域交流については実施できなかったが、入居者への転嫁を行い、個別誕生会は概ね実施できたと思われる。

(3) 年間計画について

新型コロナウイルスや感染症等の発症により中止や縮小して実施した行事もあるが、概ね実施出来た。

(4) 個別誕生会報告

令和3年4月1日～令和4年3月31日

実施月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
実施件数	鶴	0	2	3	2	0	4	0	0	1	0	0	12
	亀	1	0	0	0	3	0	2	0	1	2	0	9
	合計	1	2	3	2	3	4	2	0	0	2	2	0

(5) 事故・ヒヤリ事故報告（ショートステイ含む）

① 件数報告

令和3年4月1日～令和4年3月31日

分類別事故報告		発生状況別事故件数		発生場所別事故件数	
転倒・転落	5	介助中	83	居室	92
ヒヤリ転倒・転落	23	自立動作中	88	食堂	17
けが	9	臥床中	0	浴室	47
ヒヤリけが	3	その他・不明	7	トイレ	17
異食・誤飲	0			廊下	1
ヒヤリ異食・誤飲	6			その他・不明	4
誤薬	5				
ヒヤリ行方不明	0				
爪切り	1				
傷・痣	123				
その他	3				
合計	178	合計	178	合計	178

② 事故内容・結果報告

令和3年4月1日～令和4年3月31日

日時	対象者	内容	結果
R3/4	亀	入居者 優先順位の判断誤りベッドより転落。	施設賠償の有・無
R3/6	鶴	入居者 他者の薬を誤薬。	施設賠償の有・無
R3/6	亀	入居者 服薬確認不足による落薬。	施設賠償の有・無
R3/8	鶴	入居者 爪切り時裂傷。	施設賠償の有・無
R3/8	亀	入居者 ベッド柵ぶつかり頭部打撲。	施設賠償の有・無
R3/8	鶴	入居者 食堂にて転倒。	施設賠償の有・無
R3/8	鶴	入居者 ベッドより転落。	施設賠償の有・無
R3/9	鶴	入居者 爪切り時裂傷。	施設賠償の有・無
R3/10	亀	入居者 食事詰まり、サクシオン後救急搬送。	施設賠償の有・無
R3/11	鶴	入居者 バルーンカテーテル抜去。	施設賠償の有・無
R3/12	亀	入居者 センサー作動確認せずベッドより転落。	施設賠償の有・無

R3/12	亀	入居者	爪切り時裂傷。	施設賠償の有・ 
R4/1	亀	入居者	バルーンカテーテル抜去。	施設賠償の有・ 
R4/3	亀	入居者	朝薬と夕薬を逆に服薬し誤薬。	施設賠償の有・ 
R4/3	鶴	入居者	点眼の未実施。	施設賠償の有・ 

(6) 苦情・ヒヤリ苦情、トラブル・ヒヤリトラブル報告（ショートステイ含む）

① 件数報告

令和3年4月1日～令和4年3月31日

分類別苦情相談件数	件数	内容別苦情相談件数	件数
苦情	0	職員の対応	6
ヒヤリ苦情	0	確認不足	5
トラブル	3		
ヒヤリトラブル	7		
合計	11	合計	11

2) 生活相談室

(1) 処遇方針について

- ・職員・入居者様との日々のコミュニケーションや各セクションとの情報交換を行い、入居者様が抱えているニーズや要望の把握できるように努めたが、個々に合った対応ができていない事もあった。新型コロナウイルスによる感染予防のため面会制限もあり、ご家族との情報交換の機会が減少され、早期の問題解決に繋げる事ができなかった事もあった。

(2) 処遇目標について

- ・入居者様の状態変化に応じたカンファレンスや定期的なカンファレンスの開催ができるようになっており、ケアプランの内容も入居者やご家族の想いに沿えるよう心掛けている。
- ・入院者数が多い時期もあり、入院期間が1ヶ月を超える可能性がある方は1度退所の方向で対応を行い、新規入所をすすめた。長期の入院者ベットや新規入所までの空床ベットを短期入所との細かな調整を行う事はできていたが、稼働率は95.63%となっており目標の97%には届かなかった。
- ・各セクションが様々な対応の工夫を行い身体拘束はなかったが、不適切なケアとして捉えられる内容があり、委員会内などでスピーチロックなどの研修を繰り返し行った。
- ・体調不良等による病院受診やその後の経過、転倒などの状況報告やその後の対策など、面会制限を行っている事も考慮しながらこまめに連絡を行う事ができた。
- ・見学希望者への対応も写真等見て頂くなどできる限り対応を行い、必要な情報提供も行った。また他セクションにも必要時にすぐに連絡ができています。

(3) 年間計画について

- ・新型コロナウイルスなどの感染症の影響により中止にした行事もあったが、各セクションや各ユニットで実施できるよう工夫をしながら行えた。個別誕生会が実施できていない月もあったため、立案・実施が確実にできているか確認を行っていくようにする。

(4) 事故・ヒヤリ事故報告

該当なし

(5) 苦情・ヒヤリ苦情、トラブル・ヒヤリトラブル件数報告

① 件数報告

令和3年4月1日～令和4年3月31日

分類別苦情相談件数	件数	内容別苦情相談件数	件数
苦情	0	職員の対応	0
ヒヤリ苦情	0	確認不足	0
トラブル(請求誤り、申請忘れ等)	1		
ヒヤリトラブル	0		
合計	1	合計	0

3) 生活看護室

(1) 処遇方針について

- ・ 日常の訴え、体調の変化に留意し、情報収集や意見交換を行い対応した。
- ・ 関連病院との連絡・調整を行い、円滑な受診・往診の対応を行うことが出来た。
- ・ 新型コロナウイルスが終息しない中、職員の発生はあったが、感染予防を常に心掛け、施設内での発生、拡大することなく経過できた。

(2) 年間目標について

- ・ 病状に合わせ、受診の必要性を検討し対応した。
- ・ 健康管理上、御家族から要望や相談があった際はその旨、主治医に報告や相談を行い希望に添えるよう努めた。
- ・ 事故防止に努めていたが、確認作業不足、思い込みによりヒヤリ、事故を防げなかった。
- ・ 病院と調整を行い、健康診断、予防接種が予定どおり行えた。
- ・ 協力病院と調整しながら、御家族の希望に沿った看護ケアを行うように努めた。
- ・ 他部署と連携を図りながら感染予防に努め、施設内の感染症の発生、拡大することなく経過できた。

(3) 年間計画について

- ・ 予定通り実施出来た。

(4) 事故・ヒヤリ事故報告 (ショートステイ含む)

① 件数報告

令和3年4月1日～令和4年3月31日

分類別事故報告		発生状況別事故件数	
事故 薬のセット間違い	2	入浴中	1
与薬間違い	1	与薬中	0
ヒヤリ与薬記入間違い	1	食事中	0
ヒヤリ 転倒、転落	0	介助中	0
その他 点滴方法の間違い	1	その他	4
合計	5	合計	5

② 事故内容・結果報告

日時	事故対象者		事故内容	結果
R3. 4. 25	特養2階	利用者	夕食後薬の抑肝散を昼食後薬にセットされているのに気づき、薬剤情報確認後セットし直す。	施設賠償の有・ <input type="checkbox"/>
R3. 9. 4	特養2階	利用者	静脈点滴の指示であったが、皮下点滴で行ってしまった。	施設賠償の有・ <input type="checkbox"/>
R4. 1. 28	ショートステイ	利用者	一包化している薬に、ヒートの薬をセットしたが、ホチキスできちんと止まっていず、薬ボックスに残っていた。1/26分が内服できなかった。	施設賠償の有・ <input type="checkbox"/>
R4. 3. 15	特養3階	利用者	排便があったが、確認せず坐薬を挿入してしまった。	施設賠償の有・ <input type="checkbox"/>

(5) 苦情・ヒヤリ苦情、トラブル・ヒヤリトラブル件数報告（ショートステイ含む）

① 件数報告

令和3年4月1日～令和4年3月31日

分類別苦情相談件数		内容別苦情相談件数	
苦情	0	確認不足	2
ヒヤリ苦情	0	職員の対応	0
トラブル	0	その他	0
ひやりトラブル	2		
合計	2	合計	2

4) 栄養管理室

(1) 処遇方針について

- ・給食委員会や検食等での意見や要望、前回の反省をもとに行事食や日常の食事の献立を都度見直した。
入居者様の栄養状態や嚥下状態に合わせた食事の提供に努めた

(2) 処遇目標について

- ・栄養ケアマネジメントを実施し、栄養状態の把握と改善に向けて検討を行った。
入居者様の年齢や介護度も上がり、栄養状態の低下がみられ維持や改善が難しくなっている。
- ・入居者様個々の嗜好や栄養状態に個別対応した食事提供ができた。
- ・適切な食事形態で食事提供ができた。
- ・厨房内の衛生管理を適切に行い、食中毒や事故の発生はなかった。

(3) 年間計画について

- ・予定通り実施できた。

(4) 事故・ヒヤリ事故報告

① 件数報告

令和3年4月1日～令和4年3月31日

分類別事故件数		内容別事故件数	
その他	3	配膳ミス	2
		調理ミス	1
合計	3	合計	3

② 事故内容・結果報告

事故報告なし

③ ヒヤリ事故内容・結果報告

日時	事故対象者		事故内容
R3/10/20	特養3階	入居者様	刻み小の方のおやつにパンを配膳してしまい、一口召し上がってしまった。つまり等なく経過された。
R3/10/27	特養2階	入居者様	牛乳禁の方に牛乳を配膳してしまい、飲まれてしまったが体調不良等なく経過された。(脂肪制限の為、牛乳禁としていた)
R4/2/26	特養3階	入居者様	刻み大(1cm大)の方の副食に、刻まれていない3cm大の牛蒡が混入していた。介助時に発見し口にされる事はなかった。

(5) 苦情・ヒヤリ苦情、トラブル・ヒヤリトラブル件数報告

① 件数報告

令和3年4月1日～令和4年3月31日

分類別苦情相談件数		内容別苦情相談件数	
苦情	3	配膳ミス	1
		異物混入	1
		職員対応の不備	1
合計	4	合計	3

② 苦情内容・結果報告

令和3年4月1日～令和4年3月31日

日時	申し出者	申し出内容
R3/8/16	特養入居者様	納豆禁の方に納豆を誤配膳、代替品を提供。
R3/8/17	特養入居者様	刻み食に糸が混入しており、代替品を提供。
R3/11/3	デイサービス利用者様	お持ち帰りおにぎりの具を間違っ作ってしまう。材料がなく作り直しができなかったが、了承して頂けた。

(6) 入居者状況

① 在所者状況

令和3年4月1日～令和4年3月31日現在(単位:人)

在所者	83	男性	21	女性	62
-----	----	----	----	----	----

② 入居者年齢構成

令和4年3月31日現在(単位:人)

性別	年齢									計	平均年齢
	～64	65～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90～94	95～			
男	0	1	2	3	1	11	3	0	21	85.09歳	
女	0	2	2	5	7	14	19	13	62	88.97歳	
計	0	3	4	8	8	25	22	13	83	87.70歳	

③ 入所前居所

令和4年3月31日現在(単位:人)

性別	居所								計
	居宅	介護福祉施設	介護保健施設	介護療養施設	医療機関	社会福祉施設	その他		
男	9	0	1	0	10	0	1	21	
女	39	0	9	0	10	0	4	62	
計	48	0	10	0	20	0	5	83	

④ 要介護度別利用状況

令和4年3月31日現在(単位:人)

性別	要介護度						計	平均介護度
	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5			
男	0	0	7	8	6	21	3.9	
女	0	0	16	35	11	62	4.0	
計	0	0	23	43	17	83	4.0	

⑤ 心身の状況

令和4年3月31日現在(単位:人)

寝たきり度 認知症自立度		寝たきり度判定基準				
		ランクJ	ランクA	ランクB	ランクC	計
認知症は認められない		1	0	0	1	2
認知症自立度 判定基準	ランクI	0	0	0	1	1
	ランクII	3	5	13	0	21
	ランクIII	0	14	22	6	42
	ランクIV	0	4	10	2	16
	ランクM	0	0	1	0	1
計		4	23	46	10	83

⑥ 月別入居状況

令和3年4月1日~令和4年3月31日現在(単位:人)

性別	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
	男		1	2	1	1	0	1	0	2	0	0	1	1
女		1	2	1	2	1	2	0	2	1	5	1	2	20
計		2	4	2	3	1	3	0	4	1	5	2	3	30

⑦ 施設在所期間

令和4年3月31日現在(単位:人)

性別	在所期間	6ヶ月以内	6ヶ月~1年未満	1年~2年未満	3年~4年未満	5年~6年未満	7年~8年未満	9年以上	計
	男		5	3	8	3	1	1	0
女		12	4	21	11	6	3	5	62
計		17	7	29	14	7	4	5	83

⑧ 入居者のADL状況

令和4年3月31日現在(単位:人)

区 分			合計	2 階		3 階		
				ラベンダー	すずらん	鶴	亀	
歩 行	自立歩行		1	0	0	0	1	
	歩行補助具使用(杖・歩行器・手押し車)		自立	2	1	1	0	0
			要介助	10	1	4	2	3
	車椅子使用	自立	11	4	2	4	1	
要介助		60	13	15	15	17		
食 事	自立		52	12	14	14	12	
	一部介助		13	4	3	4	2	
	全介助		18	2	5	3	8	
入 浴	自立		0	0	0	0	0	
	一部介助		2	1	0	1	0	
	全介助		81	17	22	20	22	
	一般浴		0	0	0	0	0	
	介助浴		4	1	0	1	2	
	特浴		79	17	22	20	20	
着 脱	自立		0	0	0	0	0	
	一部介助		11	2	5	4	0	
	全介助		72	16	17	17	22	
排 泄	昼 間	トイレ使用	自立	9	2	3	3	1
			誘導	37	5	11	11	10
	便器使用	自立	12	4	7	0	1	
		介助	34	3	7	14	10	
おむつ使用(簡易おむつを含む)			81	17	21	21	22	
夜 間	トイレ使用	自立	7	2	2	2	1	
		誘導	28	4	11	7	6	
	便器使用 (ホ-ダブル含)	自立	10	3	6	0	1	
		介助	25	3	7	9	6	
おむつ使用(簡易おむつを含む)			81	17	21	21	22	
整 容	自立		0	0	0	0	0	
	一部介助		15	6	5	4	0	
	全介助		68	12	17	17	22	
体 交	自立		31	5	12	8	6	
	全介助		52	13	10	10	16	

※歩行・移動、排泄について重複あり

⑨ 月別入退院者状況

令和4年3月31日現在(単位:人)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入・通院	3	5	2	1	4	3	6	3	5	4	3	4	43
入院者数	3	5	2	1	4	3	6	3	5	4	3	4	43
退院者数	0	3	0	1	1	2	3	1	2	2	3	1	19

⑩ 入居者の動向

令和3年4月1日～令和4年3月31日（単位：人）

年 月	定 員	入 所	退 所			月末人員
			死亡	長期入院	その他	
2年4月	83	2	1	0	0	80
5月	83	4	2	0	0	82
6月	83	2	0	3	0	83
7月	83	3	0	1	0	83
8月	83	1	2	1	0	82
9月	83	3	1	0	0	83
10月	83	0	0	3	0	82
11月	83	4	0	1	0	83
12月	83	1	1	3	0	82
3年1月	83	5	1	2	0	82
2月	83	2	0	1	0	83
3月	83	3	0	3	0	83
計	996	30	8	18	0	988
			26			

⑪ 診療科別入通院状況

令和3年4月1日～令和4年3月31日（単位：人）

月	科 区分	内 科	外 科	整 形	皮 膚 科	泌 尿 器 科	循 環 器 科	脳 外 科	婦 人 科	精 神 科	耳 鼻 科	眼 科	歯 科	そ の 他	計
	通 院	203		6	16	14	4	1		7	1	4	21		277
5	入 院	2					1	2							5
	通 院	137		7	18	14	1	5		7		3	26	1	219
6	入 院	2													2
	通 院	214		5	16	16		3		7	2	1	19		283
7	入 院	1													1
	通 院	195		4	17	14	2	2		7		4	19		264
8	入 院	4													4
	通 院	237	1	6	20	14	1	1		7	1	3	13		304
9	入 院	2					1								3
	通 院	226		5	18	15	2	1		14	1	4	19		305
10	入 院	3		1			1	1							6
	通 院	200		12	16	12	6	1	4	7		5	15	1	279
11	入 院	3													3
	通 院	212		5	19	14	1	1	1	6		3	14	2	276
12	入 院	1		1			3								5
	通 院	190		5	16	14	2	1	1	5	1	4	21		260
1	入 院	2					2								4
	通 院	152		13	18	18	1	3		6		1	8	1	221
2	入 院	1				1		1							3
	通 院	204		8	18	17	3	2		6		2	22		282
3	入 院	2		1				1							4
	通 院	259	1	9	23	17	1	1		12		4	27		354
入 院 計		26		3		1	8	5							43
通 院 計		2429	2	85	215	179	24	22	6	91	6	38	224	3	3216

⑫ 入院・通院状況

令和3年4月1日～令和4年3月31日（単位：人）

病院名	主な科目	通院者	入院者	病院名	主な科目	通院者	入院者
北光循環器クリニック	循環器	3	1	五稜会病院	精神科	91	
東徳洲会病院	循環器	1	1	愛心メモリアル	循環器	10	2
札幌百合の会病院	内科	2424	23	心臓血管クリニック	循環器	4	2
	整形	54		北大病院	婦人科	3	
					救急外来	1	
天使病院	内科	2	2	北海道医療センター	救急外来	1	1
道都病院	外科	2		日之出歯科	歯科	223	
	内科	2	1	禎心会病院	脳神経	7	2
新川まえだ眼科	眼科	36			整形	5	
太平眼科	眼科	1			循環器	5	
横山眼科	眼科	1			発熱外来	1	
東豊病院	婦人科	3		市立札幌病院	皮膚科	2	
平川歯科	歯科	1			泌尿器科	1	
北海道泌尿器科	泌尿器	7	1		循環器	1	
麻生脳神経外科	脳神経	1		小林皮膚科	皮膚科	204	
斗南病院	整形	1	1	岩田皮膚科	皮膚科	5	
J R病院	整形	1		時計台病院	皮膚科	2	
川嶋泌尿器科	泌尿器	171		クラーク病院	整形	2	
本間皮膚科	皮膚科	2		札幌中央病院	内科	1	1
新川新道整形	整形	7	2	北海道脳外	脳神経	1	
麻生北クリニック	耳鼻科	6		北脳神経外科	脳神経	13	3
いとが整形	整形	15		合 計		3324	43

※入院理由内訳 内科／誤嚥性肺炎、心不全、老衰、腎盂腎炎、食欲不振、血圧低下、下血、腎不全、貧血他 脳外科／脳梗塞、慢性硬膜下血腫 循環器／循環不全、ペースメーカー電池交換他 整形／骨折

⑬ 月別稼働数

令和3年4月1日～令和4年3月31日（単位：人）

年月	定数	在所者合計	入院加算	合計	稼働率
2年4月	2,490	2,341	12	2,353	94.01%
5月	2,573	2,376	36	2,412	92.34%
6月	2,490	2,347	8	2,355	94.26%
7月	2,573	2,489	12	2,501	94.26%
8月	2,573	2,462	24	2,486	96.74%
9月	2,490	2,394	9	2,403	96.15%
10月	2,573	2,399	43	2,442	93.24%
11月	2,490	2,312	28	2,340	92.85%
12月	2,573	2,369	32	2,401	92.07%
3年1月	2,573	2,352	22	2,374	91.41%

2月	2,324	2,201	10	2,211	94.70%
3月	2,573	2,417	22	2,439	93.94%
合計	30,295	28,459	258	28,717	93.93%

⑭ ボランティアの受入れ状況

令和3年4月1日～令和4年3月31日

区分	内容	前年度実績	年間件数	主な団体名
技術奉仕		有・無	0	
作業奉仕	縫い物など	有・無	0	ひまわりクラブ
介助奉仕	行事手伝い・移動介助・クラブ活動手伝い他	有・無	0	橋本氏・中田氏・木嶋氏・山田氏・荻原氏・福本氏
指導奉仕		有・無	0	
その他		有・無	0	

⑮ クラブ活動状況

令和3年4月1日～令和4年3月31日（1回平均・単位：人）

クラブ名	参加人員			指導者等	開催状況
	男	女	計		
フラワーアレンジメント教室	0	10～14	10～14	フラワーひまわり野宮氏	月1回（水）
音楽療法	0～2	3～6	4～6	音楽療法士上田氏中村氏	週1回（火 or 金）AM
	2～6	10～18	12～24		週1回（火 or 金）PM

⑯ 慰問団体の受入れ状況

令和3年4月1日～令和4年3月31日

慰問内容	団体名	慰問内容	団体名
感染予防のため、今年度は慰問受け入れを中止となっている。			

⑰ 行事報告

令和3年4月1日～令和4年3月31日

月 日	行事名	参加人数	内 容	反 省
毎月	法話会		浄恩寺僧侶のお話し	コロナウイルス感染防止のため中止
4月28日（火）	誕生会	入居者全員	余興鑑賞は中止。	感染症予防の為、余興鑑賞は中止となる。各ユニットにて誕生会を行い該当者は記念撮影をし、ご家族に郵送した。
5月20日（水）	誕生会	入居者全員	余興鑑賞は中止。	感染症予防の為、余興鑑賞は中止となる。各ユニットにて誕生会を行い該当者は記念撮影をし、ご家族に郵送した。
6月10日（月）	イトヨーカ堂アリオ店移動販売			感染症のため中止となる。
6月18日（木）	誕生会	入居者全員	余興鑑賞は中止。	感染症予防の為、余興鑑賞は中止となる。各ユニットにて誕生会を行い該当者は記念撮影をし、ご家族に郵送した。

月 日	行事名	参加人数	内 容	反 省
7月7・8・16・17日 (火・水・木・金)	ジンギスカン	入居者全員	ユニット毎で実施し食材を調理が見える位置に座り、見た目・においで食欲の増進を図る。	普段あまり食欲がない方も、おにぎりやお肉などたくさん食べられていた。16日の開催時につくねで詰まりあるも、すぐ看護師が対応しその後特変は見られなかった。
7月28日 (火)	誕生会	入居者全員	余興鑑賞は中止。	感染症予防の為、余興鑑賞は中止となる。各ユニットにて誕生会を行い該当者は記念撮影をし、ご家族に郵送した。
8月1日 (土)	夏祭り	入居者全員	盆踊りは別に機会とし、夏祭りとして開催する。参加する時間帯を分け、感染予防対策をしながら実施する。	午前の部と午後の部に分け、食事コーナーとゲームコーナーも場所を離すなど感染対策を行いながら実施した。時間的にも余裕があり、皆さん楽しんでいた。
8月7日 (金)	七夕	入居者全員	各ユニット毎で七夕の由来、短冊の願い事の発表、七夕にちなんだゲームなどの実施する。	短冊発表時はユニークな願い事もあり、笑い声が多くあった。七夕の歌の合唱の際参加者全員で歌えており笑顔見られ楽しんでいる様子であった。
8月14日 (金)	誕生会	入居者全員	余興鑑賞は中止。	感染症予防の為、余興鑑賞は中止となる。各ユニットにて誕生会を行い該当者は記念撮影をし、ご家族に郵送した。
9月中旬	バスレク			感染症のため中止となる。
9月15日 (火)	誕生会	入居者全員	余興鑑賞は中止。	感染症予防の為、余興鑑賞は中止となる。各ユニットにて誕生会を行い該当者は記念撮影をし、ご家族に郵送した。
9月19日 (土)	敬老祝賀会	入居者全員	余興鑑賞は中止。	午前中に1階にて写真撮影を行い、午後から各ユニットで時間を分けてお祝いを行った。フォトフレームを作成も問題無く行えた。記念品の水ようかんがとても好評であった。
10月13日 (火)	イトヨーカ堂 アリオ店移動 販売			感染症のため中止となる。
10月22日 (木)	誕生会	入居者全員	余興鑑賞は中止。	感染症予防の為、余興鑑賞は中止となる。各ユニットにて誕生会を行い該当者は記念撮影をし、ご家族に郵送した。
10月26・27・29・30日 (月・火・木・金)	秋のデザート バイキング	入居者全員	各ユニット毎にデザートを並べ、バイキング形式で楽しんで頂く。	クレープはできるだけ好みを聞きながら作成する事ができ、個人の食事形態に合わせて提供する事で様々な種類が作成できた。1週間で4ユニットの開催は準備などバタバタするため、次回は1週間で2ユニットなど開催時期を連続にしないなどの検討が必要。
11月16日 (月)	誕生会	入居者全員	余興鑑賞は中止。	感染症予防の為、余興鑑賞は中止となる。各ユニットにて誕生会を行い該当者は記念撮影をし、ご家族に郵送した。
12月18日 (金)	誕生会	入居者全員	余興鑑賞は中止。	感染症予防の為、余興鑑賞は中止となる。各ユニットにて誕生会を行い該当者は記念撮影をし、ご家族に郵送した。

12月25日 (金)	クリスマス会	入居者全員	ユニットごとで食事後、休憩を挟み余興(合唱や職員の出し物)を楽しんで頂く。	担当の方との打ち合わせ不足があったが、イントロクイズや職員による仮装相撲大会も楽しまれていた。
1月8日 (金)	もちつき大会	入居者全員	入居者・職員が順番で餅を搗いて頂く。	入居者様や職員にも餅を搗いてもらい、手拍子をしながら見ている方も楽しく実施できた。おやつのお汁粉も喉つまりの事故も無く摂取して頂けた。
1月12日 (金)	誕生会	入居者全員	余興鑑賞は中止。	感染症予防の為、余興鑑賞は中止となる。各ユニットにて誕生会を行い該当者は記念撮影をし、ご家族に郵送した。
2月3日 (水)	節分	入居者全員	年男、年女の紹介後、鬼が登場し皆さんで豆まきを行い無病息災を祈る	鬼の登場に驚きながらも、「鬼は外、福は内。」と懸命に豆を投げられる他、笑顔も多くみられていた。落花生を殻ごと食べようとする方もいるも、近くで見守りすることで防止でき、進行もスムーズにできていた。
2月17日 (水)	誕生会	入居者全員	余興鑑賞は中止。	感染症予防の為、余興鑑賞は中止となる。各ユニットにて誕生会を行い該当者は記念撮影をし、ご家族に郵送した。
3月3日 (水)	ひな祭り	入居者全員	ユニットごとにひな祭りにちなんだゲームや合唱を行い楽しんで頂く。	ひな祭りや春にちなんだ曲を流し、職員と皆さんで合唱を楽しむ事ができた。
3月22日 (月)	誕生会	入居者全員		感染症予防の為、余興鑑賞は中止となる。各ユニットにて誕生会を行い該当者は記念撮影をし、ご家族に郵送した。

⑱ 食形態別状況

令和3年4月1日～令和4年3月31日(単位:人)

月	形態	常食	軟菜	刻み食・ソフト食	ミキサー食	糖尿食	減塩食	その他(ゼリー食など)	合計
4		12	14	23	11	7	7	1	75
5		12	14	24	8	6	7	3	74
6		12	13	27	9	6	6	2	75
7		11	13	26	10	6	7	2	75
8		10	14	26	12	6	8	2	78
9		10	13	27	11	6	6	3	76
10		9	17	25	9	6	6	3	75
11		9	16	25	9	6	6	2	73
12		10	18	24	10	6	6	1	75
1		10	15	25	10	6	5	2	73
2		11	14	27	11	5	5	2	75
3		11	16	26	11	5	5	3	77
合計		127 14%	177 20%	305 34%	121 13%	71 8%	741 8%	26 3%	901

※食形態の刻み食の中にソフト食の方を含む

⑱ 行事食実施状況

令和3年4月1日～令和4年3月31日

月	行事名	行事食内容
4	・誕生会(14日)	・かにめし、清汁、しそつくね、おろし酢和え、フルーチェ ケーキ
5	・端午の節句(5日) ・誕生会(20日)	・弁当(五目御飯、清汁、メンチカツ、南瓜煮物、玉子焼、ウインナーほうれん草和え物、漬物)、ゼリー ・牛すき焼き、清汁、わかめ御飯、もずく酢、豆乳茶碗蒸し、ゼリーケーキ
6	・北海道神宮祭(15日) ・誕生会(25日)	・いなり寿司、清汁、天ぷら、卵豆腐、小松菜和え物 ・弁当(竹の子御飯、とんかつ、厚焼卵、エビチリ、花形しんじょ、三色なます、漬物) 清汁、ケーキ
7	・野外食(8-9、15-16日) (デイ 12-14日) ・誕生会(19日)	・ジンギスカン、野菜、うどん、おにぎり、漬物 ・うなぎちらし寿司、清汁、鶏松風焼、南瓜さつま芋サラダ あんみつゼリー
8	・七夕・夏祭り(7日) ・お盆(15日) ・誕生会(24日)	・ちらし寿司、そうめん汁、鶏のり塩揚げ、おろし和え ・ゆかり御飯、清汁、天ぷら、煮しめ、酢の物 ・ほたて御飯、鮭塩焼、のし豚、炊き合わせ、長芋梅ソース、茶碗蒸し スイカ、清汁、ケーキ
9	・敬老祝賀会(18日) ・誕生会(15日)	・赤飯おにぎり、卵細巻寿司、刺身、炊き合わせ、茶碗蒸しかにあんかけ 清汁、フルーチェ ・栗山菜おこわ、鶏蜂蜜味噌焼、白身磯辺揚、花形しんじょ、干草焼 ほうれん草辛子和え、清汁、おはぎ
10	・誕生会(19日)	・鮭散らし寿司、清汁、タレザンギ、炊き合わせ、さつま芋りんごサラダ ケーキ
11	・誕生会(18日)	・生ちらし寿司、清汁、鶏大豆つくね、なめこおろし和え、茶碗蒸し ケーキ
12	・誕生会(17日) ・ディナークリスマス会(23.24日) ・クリスマス会(25日) ・年越し(31日)	・石狩鍋、桜えびご飯、茄子はさみ揚、柚子なます、清汁 クリームどら焼き、甘酒 ・かに散らし寿司、ローストチキン、ポテトサラダ、カラフルオムレツ まかろにソテー、清汁、クリスマスケーキ ・年越しそば、寿司盛合せ(いなり・卵細巻)、盛り合わせ、ピーナツ和え
1	・正月(元旦) (2日) (3日) ・誕生会(12日)	《朝食》芋もち雑煮、ゆかりごはん、和え物、黒豆 《昼食》赤飯、梅蒲鉾、ブリ照焼、昆布巻き、豆腐すりみ焼 カニクリームコロッケ、炊き合わせ、清汁 《おやつ》干支羊羹、昆布茶 《夕食》ご飯、清汁、うま煮、干草焼、紅白柚子なます 《朝食》ご飯、味噌汁、しんじょう煮物、金平牛蒡、漬物 《昼食》ちらし寿司、清汁、煮物、和え物、フルーチェ 《おやつ》栗きんとん 《夕食》ご飯、味噌汁、鶏松風焼、じゃが芋エビあんかけ、香り和え 《朝食》ご飯、味噌汁、寿厚焼卵、三色和え、漬物 《昼食》ご飯、天ぷら、煮物、茶碗蒸し 《おやつ》どら焼き 《夕食》ご飯、清汁、鮭幽庵焼、大豆の煮物、カリフラワーマリネ ・豚すき焼き、炊き込みご飯、卵豆腐 長芋ゆかり和え、ゼリー、清汁 ケーキ
2	・節分(3日) ・誕生会(21日)	・いなり寿司、卵巻寿司、清汁、大豆のし豚、磯和え、煮豆 まんじゅう 甘酒 ・赤飯、鮭塩焼、鶏からあげ、紅白蒲鉾、厚焼卵、煮物、酢味噌、清汁 ケーキ

3	<ul style="list-style-type: none"> ・雛祭り(3日) ・誕生会(25日) ・寿司の日(21日) 	<ul style="list-style-type: none"> ・散らし寿司、鶏菜種焼、菜の花辛子和え、清汁 桜餅、甘酒 ・たわらおにぎり、天ぷら、炊き合わせ、酢の物、清見オレンジ ケーキ ・寿司盛合せ(マグロ、ホタテ、エビ、サーモン、カニマヨ、ネギトロ、 卵、いなり) 清汁、茶碗蒸し
---	---	---

5) 短期・予防短期入所生活介護事業

(1) 処遇方針について

- ・個々の状況を日々の関わりからニーズを捉えることで、必要な介護の提供を行うことで、サービス利用後の在宅生活を継続できるよう配慮しながら対応した。
- ・状況変化等は随時関係セクションと報告・連絡・相談するよう努めた。利用中の特変事項やニーズの変化もその都度セクション内で情報共有し、問題があれば解決できるよう努めた。必要な内容をご家族や介護支援専門員等と連絡を取りながら、情報の共有と対応方法の検討に努めた。

(2) 処遇目標について

- ・長期入所ベッドを入院期間や入所時期の確認を行いながら効率よく空床利用して頂けるよう心掛けた。空床情報を各事業所へ連絡や訪問し、新規利用者獲得や継続利用して頂けるよう努め、目標稼働率の85%を達成することができた。来年度も目標達成ができるよう努めていく。
- ・ケアプランを基に施設生活において必要とされる援助計画を作成・実施するよう努めた。
- ・普段よりご本人やご家族と関わりを多く持つよう意識し、情報共有、ニーズの把握・サービス提供内容について検討しながら対応した。新規利用者獲得とリピーター獲得について、今後もより意識を高めて取り組んでいく。
- ・日頃の送迎時や担当者会議等でご家族や介護支援専門員、他連携機関等と連絡を取り、課題点の把握やサービス利用中の問題点を把握し、共に問題解決へと繋げられるよう心掛けた。

(3) 年間計画について

- ・計画通り実施。

(4) 事故・ヒヤリ事故報告(特養と重複有り)

① 件数報告

令和3年4月1日～令和4年3月31日

分類別事故報告		発生状況別事故件数	
転倒・転落	5	介助中	0
ヒヤリ転倒・転落	18	トイレ中	2
一人での外出	0	移動中	0
ヒヤリ一人での外出	2	歩行中	5
誤薬	0	臥床・就寝中	14
ヒヤリ与薬忘れ	0	車いす乗車中	0
傷・痣	1	その他	7
その他	2		
合 計	28	合 計	28

② 内容・結果報告

令和3年4月1日～令和4年3月31日

日時	事故対象者		事故内容	結果
R3/4	2F すずらん	利用者	トイレより居室に戻る際に転倒。左大転子部骨折。	施設賠償の有・ <input type="checkbox"/>
R3/4	3F 鶴	利用者	食堂にて立ち上がり転倒。第3腰椎圧迫骨折。	施設賠償の有・ <input type="checkbox"/>
R3/8	2F すずらん	利用者	トイレ内で一人ですっといた。	施設賠償の有・ <input type="checkbox"/>
R3/8	2F ラベンダー	利用者	自室にてベッドより転落、右肩打撲の診断。	施設賠償の有・ <input type="checkbox"/>
R4/1	3F 鶴	利用者	ホッチキスで薬をとめていたが外れていたことに気づかず、服薬忘れ。	施設賠償の有・ <input type="checkbox"/>
R4/1	2F ラベンダー	利用者	食堂にて立ち上がりバランス崩して転倒。	施設賠償の有・ <input type="checkbox"/>
R4/2	2F ラベンダー	利用者	排泄チェック表記入もれにより、GE 浣腸しなくてよいところ実施してしまう	施設賠償の有・ <input type="checkbox"/>
R4/2	2F ラベンダー	利用者	排泄チェック表記入もれにより、GE 浣腸しなくてよいところ実施してしまう	施設賠償の有・ <input type="checkbox"/>
R4/3	2F ラベンダー	利用者	ベッドから転落。	施設賠償の有・ <input type="checkbox"/>
R4/3	2F すずらん	利用者	安眠剤 2錠内服するところ、1錠のみしか内服してもらわなかった。	施設賠償の有・ <input type="checkbox"/>

(5) 苦情・ヒヤリ苦情、トラブル・ヒヤリトラブル件数報告（特養と重複有り）

① 件数報告

令和3年4月1日～令和4年3月31日

分類別苦情相談件数		内容別苦情相談件数	
苦情	0	ケアの内容	0
ヒヤリ苦情	0	職員の対応	7
トラブル	1	その他	0
ひやりトラブル	6		
合計	7	合計	7

② 苦情内容・結果報告（特養に掲載）

トラブルの起因者	トラブル内容	結果
2F ショート利用者様	ショート退所後、衣類一式がないと電話入り、入浴の準備で着替えを用意するも、当日入浴せず、また返却を忘れてしまう。	第三者報告 有・ <input type="checkbox"/> 未解決・解決

(6) 利用者状況

要介護度別利用状況

令和3年4月1日～令和4年3月31日(単位:人)

月	内 訳	要支援		要介護					計
		1	2	1	2	3	4	5	
4	実人員	0	0	2	3	4	10	2	21
	延利用者数	0	0	23	22	80	236	22	383
5	実人員	0	1	1	2	6	9	2	21
	延利用者数	0	15	20	29	114	239	25	442
6	実人員	0	1	1	3	5	9	2	21
	延利用者数	0	15	19	21	85	206	22	368
7	実人員	0	1	1	3	6	7	3	21
	延利用者数	0	15	15	25	129	155	50	389
8	実人員	0	1	2	4	8	7	3	25
	延利用者数	0	15	29	38	151	146	58	437
9	実人員	0	1	2	4	8	6	3	24
	延利用者数	0	15	24	28	163	99	55	384
10	実人員	0	1	4	5	8	3	5	26
	延利用者数	0	15	54	58	166	82	74	449
11	実人員	0	1	4	4	6	3	3	21
	延利用者数	0	15	61	41	148	82	60	407
12	実人員	0	1	2	4	10	3	3	23
	延利用者数	0	15	49	43	207	83	57	454
1	実人員	0	2	4	4	10	4	2	26
	延利用者数	0	16	52	86	193	94	39	480
2	実人員	0	1	2	3	10	3	2	21
	延利用者数	0	13	45	80	204	74	24	440
3	実人員	0	2	4	4	11	3	2	26
	延利用者数	0	17	59	77	169	59	40	421
計	実人員	0	13	29	43	92	67	32	276
	延利用者数	0	166	450	548	1809	1555	526	5054

3 在宅事業部

1) 通所介護室

(1) 処遇方針について

(通所介護)

- ・利用者様の心身の状態やニーズの把握に努め、ご本人の心身の状態に応じたサービスの提供、取り組みが出来た。また、顧客満足向上を意識し、お客様に安心・安全な介護を実施すよう心掛ける事が出来た。

(第1号通所事業)

- ・個々の能力に応じた関わりを行い、楽しみながら活動する機会の提供により生きがいや楽しみをもたらす支援を提供する事が出来た。

(2) 処遇目標について

(通所介護・第1号通所事業共通)

- ① 利用者様の状況報告や写真付きの空き情報のお知らせをし活動報告を実施。定期的に居宅事業所との連絡をとリスムーズな調整を図るよう心掛けていた。また、新たな企画を周知して頂く為、PR誌を作成し営業に行く事ができた。計画書の作成・評価など各自、必要となるサービスを把握し提供できるよう意識を持ち取り組むことが出来た。
- ② 季節に合わせた工作や頭の体操の他手芸なども取り入れたことにより更に余暇活動として、充実した余暇活動の提供ができた。また、通信カラオケのコンテンツを利用し月替わりの体操メニューや集団体操のメニューも増やし楽しみながら歩行練習できる機会を提供し充実させることができた。
- ③ 担当者会議への積極的な参加や送迎時にはご家族様とも交流の機会をつくり利用者や家族の心身の状態把握をする事でより個々に応じたサービスの提供が出来た。

(3) 年間計画について

- ・新型コロナウイルスの影響により、感染予防を重要視し外出行事を自粛する。そのため個別誕生会やバスレク、流しそうめんを中止。代替行事として、感染予防しながらの近所へのソフトクリームツアーを実施したりデザートバイキングやテイクアウトを利用したお楽しみランチなどを実施し好評であった。

(4) 事故・ヒヤリ事故報告

① 件数報告

令和3年4月1日～令和4年3月31日

分類別事故報告		発生状況別事故件数	
転倒・転落	0	介助中	0
ヒヤリ転倒・転落	3	自立動作中	2
ヒヤリ異食	0	食事中	0
傷・痣	18	レク中	0
むせ・つまり	0	不明	16
ヒヤリ与薬忘れ	1	送迎時	1
ヒヤリケア漏れ	1	入浴中	1
与薬忘れ	2	その他	5
合 計	25	合 計	25

(5) 苦情・ヒヤリ苦情、トラブル・ヒヤリトラブル報告

① 件数報告

令和3年4月1日～令和4年3月31日

分類別苦情相談件数		内容別苦情相談件数	
トラブル	1	職員の対応	5
ヒヤリ苦情	0	その他	0
ヒヤリトラブル相談	4		0
合計	5	合計	5

日時	事故対象者	事故内容	結果
R3/9	デイサービス利用者	バイキングのメニューでムセと詰まりありサクシオンを施行する	施設賠償の有・ <input checked="" type="checkbox"/>
R4/3	デイサービス利用者	預かり昼食後薬内服介助を忘れる	施設賠償の有・ <input checked="" type="checkbox"/>

(6) 利用者状況

① 利用者の年齢構成（令和2年3月現在実人数）

ア) 一般型

(単位：人)

性別	年齢	64以下	65～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90以上	計
	男性		1	0	4	2	1	7	4
女性		1	1	1	7	9	8	13	40
計		2	1	5	9	10	15	17	59
率(%)		3.38	1.7	8.47	15.25	16.94	25.42	28.81	100

イ) 介護予防(人)

(単位：人)

性別	年齢	64以下	65～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90以上	計
	男性		0	0	0	1	0	0	1
女性		0	0	0	0	0	3	4	7
計		0	0	0	1	0	3	5	9
率(%)		0	0	0	11.11	0	33.33	55.56	100

② 年間利用者状況

令和3年4月1日～令和4年3月31日 (単位：人)

月	開設日数(日)	形式	実人員	新規	廃止	延べ利用人員	一日平均利用者数	形式	実人員	新規	廃止	延べ利用人員	一日平均利用者数
5	12	一般	28	1	0	132	11	予防	8	0	0	20	1.66
6	22	一般	26	0	2	241	10.9	予防	7	2	0	38	1.72
7	22	一般	29	3	3	268	12.1	予防	7	0	3	39	1.77
8	22	一般	35	5	6	298	13.5	予防	9	1	0	45	2.04
9	22	一般	36	1	0	338	15.3	予防	11	1	0	66	3
10	21	一般	41	4	1	346	16.4	予防	10	0	1	49	2.33

11	22	一般	38	0	2	313	14.2	予防	10	0	0	58	2.63
12	21	一般	38	4	1	310	14.7	予防	9	0	0	52	2.47
1	20	一般	42	6	1	301	15	予防	9	0	1	46	2.3
2	20	一般	37	6	0	291	14.5	予防	9	0	0	41	2.05
3	23	一般	45	4	2	421	18.3	予防	9	0	0	59	2.56
計	249	一般	425	36	20	3565	14.31	予防	107	5	5	564	2.26

※実人員は、当該月に1回でも利用のあった者（当該月に4回利用した人も1人とカウントする）

※延べ利用人員は、当該月の利用人数の合計（例 当該月に4回利用した場合は4とカウントする）

※廃止内訳（介護保険施設入所、長期入院、転居、死亡、本人希望、その他）

③ 要介護度別利用者状況

令和3年4月1日～令和4年3月31日（単位：人）

月	型	要支援		要介護					計	
		1	2	経過	1	2	3	4		5
4	一般	17 (5)	34 (4)		186 (18)	52 (6)	35 (3)	0	33 (3)	357 (39)
5	一般	7 (4)	13 (4)		82 (16)	14 (4)	15 (4)	0	21 (4)	152 (36)
6	一般	17 (4)	21 (3)		150 (16)	14 (4)	15 (4)	14 (1)	35 (3)	279 (33)
7	一般	15 (4)	24 (3)		166 (17)	32 (5)	29 (3)	10 (1)	31 (3)	307 (36)
8	一般	19 (5)	26 (8)		171 (20)	55 (7)	41 (4)	11 (2)	20 (3)	343 (44)
9	一般	27 (6)	39 (5)		175 (19)	60 (7)	52 (5)	22 (1)	29 (3)	404 (47)
10	一般	22 (6)	27 (4)		176 (20)	72 (10)	51 (6)	11 (1)	36 (4)	395 (51)
11	一般	24 (6)	24 (4)		160 (19)	78 (11)	39 (4)	6 (1)	30 (3)	371 (48)
12	一般	21 (5)	31 (4)		161 (18)	74 (11)	38 (4)	9 (1)	28 (4)	362 (47)
1	一般	18 (5)	28 (4)		169 (21)	71 (13)	28 (13)	8 (1)	25 (4)	347 (51)
2	一般	17 (5)	24 (4)		158 (21)	94 (10)	13 (2)	9 (1)	17 (3)	332 (46)
3	一般	23 (5)	26 (4)		214 (24)	119 (12)	52 (4)	9 (1)	27 (4)	480 (54)
総計		227 (60)	337 (47)		1968 (229)	747 (100)	409 (44)	109 (11)	332 (41)	4129 (532)
		5.5	8.16		47.7	18.1	9.9	2.64	8.0	100

数字は延べ人員（ ）内は実利用者数

④ 行事報告

令和3年4月1日～令和4年3月31日

月日	行事名	参加者	内容	反省・特記事項
毎月	誕生会	全員	誕生者の紹介 誕生カードの贈呈	
4/20 (火)	デザート屋台	参加者 21名	三色汁粉と花びら煎餅の焼きたてが出来立てデザートを味わっていただく	お汁粉も煎餅も美味しいと皆さんお替りもされ好評だった。白玉は予定より早くゆであがり煎餅は焼くのに時間がかかってしまった為、作る際は調理時間の調整も必要
4/26 (月)	ランチバイキング	利用者全員	テーマ：北海道の味 感染対策をしながら 様々な料理の中から 選んで頂く	食材や北の国からのBGMにより北海道の雰囲気が出ており喜ばれていた。利用者の誘導はテーブルごとに行い問題なく実施できていた。アイスクリームは食べやすくさっぱりしていて好評であった。

月 日	行事名	参加者	内 容	反省・特記事項
6/17 (木)	デザート 屋台	参加者 13 名	若鮎抹茶どら焼き焼きたてを味わっていただく	利用者にチョコペンで顔を描いてもらっていたが、見本などがあると良かった。利用者からは「抹茶の風味がしたよ」と好評の声もあったが一品しかなく物足りなさを感じた。
6/23 (水)	ランチ バイキング	利用者全員	テーマ：ピクニック ピクニックでのお弁当をイメージしたメニューで実施	おかずカップを初めて使用したがカップ自体がカラフルで副菜がより彩りよく華やかに見えてよかった。副菜の量を調整することにより、色々なおかずを選んでもらうことができた
7/12～14 (月～水)	野外食	参加者 31 名	外気に触れいつもと違う雰囲気での食事を楽しんで頂く	コロナ対策により研修テーブルと倶楽部テーブルを連ねて座席の配慮をした。2階からの全体写真は野外での楽しそうな雰囲気が伝わりとても良かった。外での食事がないからと喜ばれている方が多く、お替りされている方もいて好評だった。
7/19 (月)	デザート 屋台	参加者 10 名	かき氷と水羊羹 フルーチェを味わって頂く	すべてのメニュー好評だったが、フルーチェの人气が高くお替りを求める方が多かった。記念撮影を行い時間を有効に活用することができた。
7/29 (木)	ランチ バイキング	利用者全員	テーマ：歴代で好評だったメニュー	ランチバイキングで人気のあったメニューを揃え今回も同様に「美味しい」と好評であった。
8/11 (水)	デザート 屋台	利用者全員	かき氷とフルーチェ	BGMや飾りつけで夏の雰囲気を味わって頂けた。当日は気温が低めでお替りの方が少なかったが「美味しい」と好評であった。
8月～ 晴天時	ソフト クリーム ツアー	参加者 30 名	夏の陽気を感じて外出の機会を持ち屋外でソフトクリームを食べ楽しんで頂く	久しぶりの外出レクで利用者にとっても喜ばれ炎天下の中で食べるソフトクリームに大満足されていた。行き帰り含め 30 分程度だったため疲労感もなく丁度よかった。
8/27 (金)	ランチ バイキング	利用者全員	テーマ：3種類の麺	どの麺も好評で、少量ずつであったが温・冷どちらもお替りされていた。トッピングも数種類準備したため、ご自身で麺とトッピングを選んだり楽しく食されていた。
9/16、17 (木・金)	敬老 祝賀会	利用者全員	対象者に花束とプレゼントの贈呈、DVD鑑賞	例年同様、メッセージと写真付きの額の贈呈をしたが本人や家族にも喜んで頂けた。全員で集合写真を撮ったが撮っている最中から楽しまっている声が聞かれた
9/27 (月)	ランチ バイキング	利用者全員	テーマ：秋をイメージしたメニュー	秋をイメージしたメニューで大変喜ばれていた。刻み小・粥の方にも同様の食事をハサミで刻んで提供したが勢いよくかき込んでムセ込みと詰まりがあった為、常食者以外の提供の検討を行う。

月 日	行事名	参加者	内 容	反省・特記事項
9/30 (木)	デザート 屋台	参加者 18 名	いももちチーズボールとスイートポテトの焼きたてを提供	お替りをされる方が沢山いて好評だった。焼き立てを召し上がって頂くことができ喜んでいただけました。
10/27 (水)	ランチ バイキング	利用者全員	テーマ：秋の食材	秋の食材や料理にできたことで季節感があり彩りがとても良かった。参加者からは美味しいとの声が多かった
10/29 (月)	デザート 屋台	利用者全員	芋団子、南瓜団子の焼きたてを提供	装飾も秋やハロウィンをイメージした飾りつけでイベント感があり雰囲気も出ていて好評だった。
11/26 (金)	ランチ バイキング	利用者全員	テーマ：お寿司	職員が板前に扮した事で皆さん喜ばれ遠慮されることなく気軽に取りに来られていたのは良かった。
11/29 (月)	デザート 屋台	参加者 14 名	焼きたてミニドーナツ	焼きたての甘い香りが食欲を湧きたてていた。生地とトッピングも 4 種類ありいろいろな組み合わせができ「美味しい」「可愛らしい」とお替りする方がいて喜ばれていた。
12/16 (木)	ランチ バイキング	利用者全員	テーマ：冬のあたたかメニュー	メイン料理が土鍋で熱々のおでんであり利用者の反応も良く喜ばれていた。家族にも動画を配信し「本格的な屋台ですごい」等の声を頂いた。
12/23、24 (木・金)	クリスマス 会	利用者全員	ビンゴ大会・余興	利用者が参加する恒例のビンゴ大会やカラオケの他、つかみ取りジャンケンプログラムを増やしたが全員が参加で、とても盛り上がっていた。
1/4、5 (火・水)	新春 お楽しみ会	利用者全員	新春の祝い、餅つき お楽しみ会	お餅つきは参加者全員が「よいしょ!!」と掛け声が上がって大変喜ばれていた。今年は、やわらか餅を提供したが、美味しと好評だった。
2/3 (木)	節分	利用者全員	節分の由来・豆まき ゲーム	利用者の反応も良く楽しんで豆まきをされていた。2 列に並び豆まきを行い、動画もとりやすく豆まきもスムーズに行えた。
3/3 (木)	ひなまつり	利用者全員	雛人形の説明、合唱 写真撮影、ゲーム	雛人形の説明は、皆さん興味を持って聞かれていた。ゲームも雛壇を完成させるゲームで盛り上がり楽しまれていた。

⑤ 曜日別稼働率 (%)

令和 3 年 4 月 1 日～令和 4 年 3 月 31 日

月 曜日	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
月	43.3	32.3	29.0	33.5	39.4	47.8	51.5	48.8	50.0	53.3	41.8	66.5	44.8
火	64.0	55.0	51.2	60.8	64.6	76.8	75.0	70.0	72.5	62.5	65.0	73.0	65.9
水	50.8	34.7	46.0	46.8	46.5	57.2	53.3	43.5	53.2	55.8	52.8	63.2	50.3
木	51.6	38.5	37.5	45.2	52.3	62.6	62.5	54.3	55.0	64.3	67.5	76.8	55.7
金	59.8	46.5	45.0	46.4	57.0	62.5	69.2	64.0	59.3	53.3	48.3	67.5	56.6
合計	53.9	41.4	41.7	46.5	52.0	61.4	62.3	56.1	58.0	57.8	55.1	69.4	54.6

※ 数字は一般（介護予防も含む）合計の稼働率（ $=x/30 \text{ 名} \times 100\%$ ）

⑥ 地域別利用者状況

令和3年4月1日～令和4年3月31日

区	利用者数	割合
北区	79	96.3
東区	3	3.7
合計	82	100

※ 利用者数は年度内に1回以上利用した利用者の現住所

2) 居宅介護室

・居宅介護支援事業所

(1) 処遇方針について

介護保険の基本理念を踏まえ、法令を遵守し制度改定やインフォーマルサービス等の情報収集を適宜行い周知し、利用者の状況・意向を十分に把握し介護予防・自立支援を目指し、公正中立な立場でケアプラン作成を行った。相談対応を迅速に行い、支援につなげることで地域に貢献できるよう努めた。

(2) 年間目標について

- a 年間実績は、入院・入所などによる廃止や新型コロナウイルス感染対策による休止中の方もいたため、年間実績には達成しなかったが、新規契約件数が廃止件数を上回り合計件数は増加となった。目標としている稼働実績については達成する事ができなかったが、目標数値に近い実績まで近づける事が出来た。
- b 利用者の相談内容に応じ包括支援センターや行政など他機関と連携を取り支援することに努めた。
- c アンケート調査結果においては見直しや改善する点があった場合は検討し改善に努める事が出来た。ケアマネ会議内でのケース検討実施の他、必要に応じて随時ケース検討を実施した。
- d 新型コロナウイルス感染対策により集合した研修が中止となり、オンライン・ZOOMを用いた研修に参加する事が出来た。
- e 同じ方面の訪問時の乗合いや徒歩での移動、用紙の両面使用や電気を細めに消す等、経費節減に努めた。

(3) 年間計画について

- a 地域や他機関から寄せられる相談は積極的に受け、入院・入所等で終了となるケースや新型コロナウイルス感染対策により休止されるケースもあったものの全体的に目標数値近くまで延ばす事が出来た。令和3年度予算の達成には至らなかったが、約30万減といったところまで達成する事ができた。
- b 地域包括支援センターや、医療・行政機関等との連携を図り、要支援・要介護状態にある相談者を、予防・支援の両面からサポートできた。又、新しくリーフレットを作成し、病院や包括支援センター等への案内や相談があった際には介護保険制度の啓蒙活動を行った。
- c アンケート調査は予定通り行なえた。ケアマネ会議は定期的実施し、業務・処遇改善やケース検討に努めた。
- d 日々の業務については各自、記録管理など確実にを行うことを心がけた。新型コロナウイルス感染対策により集合研修は少なく、ZOOMを活用した研修に各自参加し制度の理解や資質向上に努めた。また特定事業所加算算定における、他法人との事例検討会や包括での事例検討会をZOOM活用し実施、他居宅との連携や知識等を深める事に努めた。
- e 自転車・徒歩での移動や、車の乗り合い、用紙の両面活用、節電を各自心がけた。今後も継続し、節電・節約を意識しながら業務にあたるよう努める。

(4) 事故・ヒヤリ事故報告

該当なし

(5) 苦情・ヒヤリ苦情、トラブル・ヒヤリトラブル報告

① 件数報告

令和3年4月1日～令和4年3月31日(単位:件)

分類別苦情相談件数		内容別苦情相談件数	
ヒヤリ苦情	0	対応の不備・確認不足	0
合計	0	合計	0

(6) 利用状況

① 要介護度別利用人数

令和3年4月1日～令和4年3月31日(単位:人)

月	区分	要支援			要介護							合計
		1	2	計	経過	1	2	3	4	5	計	
4	実人数	21	26	47(23.5)	0	56	29	11	12	2	110	141(121)
5	実人数	21	27	48(24)	0	54	28	14	14	2	112	138(118.5)
6	実人数	21	25	46(23)	0	56	30	12	11	3	112	141(121)
7	実人数	17	32	49(24.5)	0	55	29	13	9	5	111	142(122)
8	実人数	16	30	46(23)	0	55	30	12	9	5	111	148(127)
9	実人数	19	32	51(25.5)	0	58	32	13	8	6	117	157(130.5)
10	実人数	16	32	48(24)	0	61	39	13	7	6	126	163(136.5)
11	実人数	15	35	50(25)	0	62	34	13	7	5	121	159(132.5)
12	実人数	16	35	51(25.5)	0	56	28	8	11	3	124	155(130.5)
1	実人数	15	32	47(23.5)	0	58	26	8	10	3	129	155(130)
2	実人数	14	33	47(23.5)	0	59	29	8	12	4	133	160(136)
3	実人数	17	31	48(24)	0	59	26	9	12	3	140	153(129.5)
計	実人数	231	324	578(289)	0	721	410	155	109	51	1446	2024(1735)

② サービス別利用件数

令和3年4月1日～令和4年3月31日(単位:人)

サービス種別	事業所件数	利用者数(延べ)	利用者数(実)	利用率
訪問介護	21 事業所	364 名	352 名	14%
訪問入浴	1 事業所	21 名	21 名	1%
訪問看護	19 事業所	245 名	244 名	10%
訪問リハビリ	3 事業所	86 名	86 名	4%
通所介護	22 事業所	596 名	570 名	23%
認知症通所介護	0 事業所	0 名	0 名	0%
地域密着通所介護	10 事業所	114 名	112 名	5%
通所リハビリ	5 事業所	91 名	91 名	4%
福祉用具貸与	17 事業所	695 名	695 名	27%
短期入所介護	11 事業所	232 名	221 名	9%
短期入所療養	1 事業所	2 名	2 名	1%
小規模居宅介護	0 事業所	0 名	0 名	0%
定期巡回訪問看	5 事業所	43 名	43 名	2%
合計	92 事業所	2,489 名	2,541 名	100%

・介護予防センター百合が原

(1) 処遇方針について

・コロナ禍による自粛生活が続き、地域の住民よりフレイルや筋力低下に関する相談を多く頂く。住民主体で活動されている介護予防教室にリハビリ専門職を派遣し、フレイル予防の体操やセルフケアについてご指導いただき、効果的な介護予防活動を実施することが出来た。また、住民主体で活動されている介護予防教室の代表者を対象とした情報交流会を企画し、今後もコロナ禍で介護予防教室が継続できるように専門職の講師の講師を交えて、講話や課題共有等を実施した。次年度も、引き続き介護予防活動の推進と普及啓発に努める。

(2) 処遇目標について

① 総合相談支援業務について

年間相談件数は前年度と同じく 255 件だった。相談内容の内訳は、昨年度と比較すると「介護予防」が 18 件増加しており、「心身の健康に関すること」のご相談も増加傾向にある。毎年、地区組織や地域の介護予防教室に介護予防センター及び各関係機関の周知活動を行い、年々、介護予防や心身の健康に関する相談が増えてきていることから、相談窓口として地域に浸透してきていることが分かる。次年度も引き続き、周知活動の継続と介護予防センターに寄せられた相談に対して、適切な機関に繋げられるよう努めていく。

② 介護予防事業・地域福祉活動支援事業について

・今年度も徹底したコロナウィルス感染対策を施し、安全に介護予防教室を運営することが出来た。
・サロンや老人クラブ代表者に状況確認を行い、介護予防活動に関する情報提供や必要に応じて介護予防の資料を郵送し、介護予防教室の再開支援を実施した。
・昨年度、コロナ禍に対応できる介護予防活動取組の一環として、介護予防センター屯田と共催で立ち上げた『はつらつ体操 ZOOM 倶楽部』を継続的に実施することが出来た。また、ご自宅に PC やインターネット環境がない方も参加ができるサテライト教室を企画し、体験会を実施することができた。

(3) 年間計画について

・今年も新型コロナウイルス感染拡大の影響もあり、すこやか倶楽部や地域の介護予防活動の支援が半数程しか実施できなかった。
・地区地域ケア会議については、今年度 2 地区ともに開催することができ、地区組織と関係機関で地域の課題について情報共有することが出来た。

(4) 事故・ヒヤリ事故報告

該当なし

(5) 苦情・ヒヤリ苦情、トラブル・ヒヤリトラブル報告

該当なし

(6) 相談事業報告 (令和3年4月1日～令和4年3月31日)

(ア) 相談件数

相談経路	電話	訪問	面接	その他	合計
①本人	99件	3件	0件	30件	132件
②家族・親戚	13件	0件	0件	2件	15件
③知人・近隣住民	15件	0件	0件	7件	22件
④介護支援専門員	0件	0件	0件	1件	1件
⑤介護保険サービス事業所	0件	0件	0件	0件	0件
⑥民生委員	7件	0件	0件	2件	2件
⑦福祉のまち推進委員	6件	0件	0件	2件	2件
⑧町内会	17件	0件	0件	7件	7件
⑨医療機関	0件	0件	0件	0件	0件
⑩行政機関	1件	0件	0件	0件	0件
⑪地域包括支援センター	11件	0件	0件	0件	0件
⑫その他	28件	0件	0件	4件	4件
合計	197件	3件	0件	55件	255件

(イ) 相談内容 (重複項目あり)

相談内容	件数
① 介護保険サービスの利用希望	28件
② 介護保険制度 (①以外)	9件
③ 介護予防	61件
④ 保健福祉サービス	4件
⑤ 高齢者虐待に関する事	0件
⑥ 消費者被害に関する事	1件
⑦ 権利擁護	0件
⑧ 認知症に関する事	19件
⑨ 心身の健康に関する事	84件
⑩ 家族の疾病・障がいに関する事	0件
⑪ 医療に関する事	2件
⑫ 住まいに関する事	8件
⑬ 処遇困難	0件
⑭ 苦情	3件
⑮ その他	114件

(ウ) 相談結果

相談内容	件数
① 継続支援へ(実態把握訪問等)	0件
② 介護予防教室に参加	8件
③ 地域介護予防活動に参加	0件
④ 介護保険申請	0件
⑤ 地域包括支援センター紹介	18件
⑥ 関係機関紹介	4件
⑦ 終結	225件

(7) 介護予防事業報告 (令和3年4月1日～令和4年3月31日)

①すこやか倶楽部

(ア) 太平・百合が原地区

開催日	場所	内容	人数	
4月	13日(火)	商工なかよし館	はつらつ体操・脳トレ	24名
	19日(月)	内外太平会館	はつらつ体操・脳トレ	22名
5月	11日(火)	商工なかよし館	健美操	開催中止
	17日(月)	内外太平会館	健美操	開催中止
6月	8日(火)	商工なかよし館	すこやか俳句教室	開催中止
	21日(月)	内外太平会館	すこやか俳句教室	開催中止
7月	13日(火)	商工なかよし館	シニアヨガ	24名
	26日(月)	内外太平会館	こころの健康づくり講話・脳トレ	26名

8月	10日(火)	商工なかよし館	フレイル予防について講話	開催中止
	16日(月)	内外太平会館	フレイル予防について講話	開催中止
9月	14日(火)	商工なかよし館	すこやか心の健康づくり教室	開催中止
	27日(月)	内外太平会館	すこやか心の健康づくり教室	開催中止
10月	12日(火)	商工なかよし館	すこやか俳句教室	24名
	18日(月)	内外太平会館	すこやか俳句教室	24名
11月	9日(火)	商工なかよし館	健美操	19名
	15日(月)	内外太平会館	シニアヨガ	25名
12月	14日(火)	商工なかよし館	クリスマス会	25名
	20日(月)	内外太平会館	クリスマス会	29名
1月	11日(火)	商工なかよし館	新春輪投げ大会	21名
	17日(月)	内外太平会館	新春輪投げ大会	21名
2月	8日(火)	商工なかよし館	疾病予防教室	開催中止
	21日(月)	内外太平会館	疾病予防教室	開催中止
3月	22日(火)	商工なかよし館	はつらつ体操・脳トレ	20名
	28日(月)	内外太平会館	はつらつ体操・脳トレ	30名
合計				334名

(イ) 麻生地区

開催日		場 所	内 容	人 数
4月	9日(金)	麻生地区会館	はつらつ体操・脳トレ	15名
	23日(金)		はつらつ体操・脳トレ	21名
5月	14日(金)	麻生地区会館	すこやか俳句教室	開催中止
	28日(金)		すこやか俳句教室	開催中止
6月	11日(金)	麻生地区会館	健美操	開催中止
	25日(金)		健美操	開催中止
7月	9日(金)	麻生地区会館	がんばる～ん体操	開催中止
	30日(金)		がんばる～ん体操	11名
8月	6日(金)	麻生地区会館	お腹の健康づくり	開催中止
	27日(金)		お腹の健康づくり	開催中止
9月	10日(金)	麻生地区会館	体力測定会	開催中止
	24日(金)		体力測定会	開催中止
10月	8日(金)	麻生地区会館	すこやか俳句教室	13名
	22日(金)		すこやか俳句教室	16名
11月	12日(金)	麻生地区会館	がんばる～ん体操	14名
	26日(金)		健美操	20名
12月	10日(金)	麻生地区会館	クリスマス会	16名
	24日(金)		クリスマス会	22名
1月	14日(金)	麻生地区会館	和クササイズ	32名
2月	4日(金)	麻生地区会館	疾病予防教室	開催中止
	25日(金)		疾病予防教室	開催中止
3月	25日(金)	麻生地区会館	はつらつ体操・脳トレ	32名
合計				212名

② 地域福祉活動報告

令和3年4月1日～令和4年3月31日

支援先	主な支援内容	支援回数	参加人数
サロン：リリーラブ！元気の会	体操・脳トレ・ケンステップ	5回	39名
サロン：さわやかサロン	体操・脳トレ・ふまねっと	3回	24名
サロン：なかよしサロン	体操・脳トレ・ケンステップ	4回	49名
老人クラブ：太平商工クラブ	体操・脳トレ	2回	29名
自主G：たいゆり健康づくり教室	体操・脳トレ	4回	43名
老人クラブ：学田さわやか会	体操・脳トレ	1回	14名
自主G：スマイルアップ体操教室	体操・脳トレ・ふまねっと・ケンステップ	7回	62名
自主G：ニコニコ体操サークル	体操・指輪っかテスト	1回	6名
北老人福祉センター：ふまねっとサークル	ふまねっと	1回	16名
北老人福祉センター：いきいき認知症予防教室	ケン・ステップ	1回	9名
麻生元気塾	コロナ感染対策について	1回	22名
はつらつ体操 Zoom 倶楽部	体操・脳トレ・講話(リハビリ・口腔)	38回	205名
合計			518名

④ 自主活動化支援事業

教室名	日程	場所	人数
たいゆり健康交流会(書面)	3月17日	介護予防センター百合が原	9名
たいゆり健康交流会(対面)	3月29日	太平百合が原まちづくりセンター	7名
百合が原・月寒オンライン交流会	3月31日	麻生まちづくりセンター	7名
合計			23名

③ 札幌市機能強化事業

教室名	日程	場所	人数
はつらつ体操 ZOOM 倶楽部	7月21日	研修室	13名
はつらつ体操 ZOOM 倶楽部	9月8日	研修室	3名
はつらつ体操 ZOOM 倶楽部	9月15日	研修室	2名
さわやかサロン	10月20日	太平百合が原まちづくりセンター	7名
スマイルUP 体操教室	10月28日	烈々布会館	10名
リリーラブ！元気の会	11月17日	パークサイドステーション	7名
ニコニコ体操教室	1月20日	麻生まちづくりセンター	6名
合計			48名

⑤ 地区地域ケア会議

日程	場所	関係機関	内容
12月17日(金)	麻生地区会館	地区各関係者	福まち役員と意見交換会
3月3日(木)	介護予防センター百合が原	地区各関係者	見守り方法について(書面開催)

【支援回数】

内 容	地域支援・地域活動回数
すこやか倶楽部	25 回
地域支援（サロン・老人クラブ、町内会等）	34 回
札幌市機能強化事業	0 回
地区地域ケア会議	2 回
北区連絡会議	5 回
地区連絡会議（太平百合が原・麻生）	15 回 (大平百合が原 8 回、麻生 7 回)
合計	81 回

・介護予防センター屯田

(1) 処遇方針について

コロナ禍による自粛生活が続き、地域住民のフレイルの危険性やリスクの高まりと、活動場所や活動の機会も不足することによるストレスや気力低下の懸念も高まっている。そんな中、リハビリや口腔に関する通信講座の提案や、屋外ウォーキング、ZOOMによるリモート教室等、これまでの対面型以外の介護予防の選択肢も増やすことが出来た。また、既存の住民主体の活動の質の活性化として、代表者やキーパーソンを対象に新たなリーダー層発掘のための講座を企画し、普段行っている体操のやり方を他者に指導出来る人材の発掘に努めることが出来た。次年度も多様な介護予防の提案とリーダー層の発掘に努める。

(2) 処遇目標について

①総合相談支援業務について

相談内容は介護予防に関する相談が 128 件と多く、コロナによる長引く自粛期間の影響もあり心身の健康に対する相談も 2 番目に多かった。地域活動が予定通り行えていない状況があり、介護予防が必要にも関わらず把握できていない高齢者や閉じこもり状態にある高齢者や何らかの支援につなげる必要性の高い高齢者を把握できていない可能性も高いため、関係機関との連携を深め把握を強化していく必要がある。又、介護予防センターの役割を周知しきれていない可能性もあり活動時に改めて地域に周知していく必要がある。

②介護予防事業・地域福祉活動支援事業について

- ・介護予防教室、地域活動においては、感染予防対策の徹底と、地域活動運営者には、感染対策の方法等を助言するなど安全な地域活動を進めた他、札幌市の機能強化事業を活用して、リハビリや栄養、口腔の専門職と連携しながらフレイル予防を進めることが出来た。
- ・コロナ禍のため、連町役員会や民児協定例会等の集まりは中止となり、周知活動を進めることは出来なかった。
- ・地区地域ケア会議を開催し、団地役員と団地内の困りごとや地域課題に関して ZOOM を活用して共有・検討することが出来た。その結果、次年度以降も役員との間で ZOOM を活用して共有の機会を持つことと、近隣自治会との合同勉強会などを予定。
- ・既存のサロンの普及啓発の強化や相談会を開催するなど方向性を決めることが出来ている。
- ・屯田地区 3 町内会で企画していた体操教室は中止となったが、次年度以降は、感染状況を注視しながら継続的に行えるよう支援する予定。
- ・非対面型の介護予防活動介護として、『はつらつ体操 ZOOM 倶楽部』の他、とんいきシニア通信講座など書面などを活用して自宅で取り組める教材を充実させた。

(3) 年間計画について

- ・コロナの自粛期間の影響により、すこやか倶楽部、地域福祉活動支援など従来の活動は計画の3分の1程度の実施となり、すこやか倶楽部28回、地域支援活動62回の支援に留まる。
- ・自粛期間でも実施可能な活動として、はつらつ体操 ZOOM 倶楽部を38回、とんいきシニア通信講座を運動編、口腔編をそれぞれ実施。

(4) 事故・ヒヤリ事故報告

- ・該当なし

(5) 苦情・ヒヤリ苦情、トラブル・ヒヤリトラブル報告

- ・該当なし

(6) 相談状況

① 相談事業報告（令3年4月1日～令和4年3月31日）

(ア) 相談件数

相談経路	電話	訪問	面接	その他	合計
①本人	103件	0件	0件	18件	121件
②家族・親戚	9件	1件	0件	5件	15件
③知人・近隣住民	3件	0件	0件	3件	6件
④介護支援専門員	0件	0件	0件	0件	0件
⑤介護保険サービス事業所	0件	0件	0件	0件	0件
⑥民生委員	0件	0件	0件	0件	0件
⑦福祉のまち推進委員	0件	0件	0件	0件	0件
⑧町内会	10件	4件	0件	4件	18件
⑨医療機関	1件	0件	0件	0件	1件
⑩行政機関	4件	0件	0件	0件	4件
⑪地域包括支援センター	23件	0件	0件	1件	24件
⑫その他	42件	0件	0件	11件	53件
合計	195件	5件	0件	42件	242件

(イ) 相談内容（重複項目あり）

相談内容	件数
①介護保険制度	11件
②介護保険制度（①以外）	18件
③介護予防	128件
④保健福祉サービス	0件
⑤高齢者虐待に関する事	6件
⑥消費者被害に関する事	1件
⑦権利擁護	0件
⑧認知症に関する事	10件
⑨心身の健康に関する事	35件
⑩家族の疾病・障がいに関する事	6件
⑪医療に関する事	3件
⑫住まいに関する事	0件
⑬処遇困難	0件
⑭苦情	1件
⑮その他	64件

(ウ) 相談結果

相談内容	件数
①実態把握訪問	2件
②介護予防教室に参加	38件
③地域介護予防活動に参加	0件
④介護保険申請	0件
⑤地域包括支援センター紹介	10件
⑥関係機関紹介	7件
⑦終結	185件

(7) 介護予防事業報告(令和3年4月1日～令和4年3月31日)

①すこやか倶楽部(4会場)

創成の里記念会館・屯田西集会所・屯田地区センター・屯田団地会館

開催日	場 所	内 容	人 数	
4月	8日(木)	西集会所	ケンステップ・室内レク	16名
	14日(水)	創成の里記念会館		28名
	15日(木)	地区センター		25名
	22日(木)	団地会館		16名
	26日(月)	創成の里記念会館	シニアヨガ	32名
5月	12日(水)	創成の里記念会館	体力測定会	開催中止
	13日(木)	西集会所		開催中止
	20日(木)	地区センター		開催中止
	27日(木)	団地会館		開催中止
	24日(月)	創成の里記念会館	シニアヨガ	開催中止
6月	9日(水)	創成の里記念会館	やさしい終活講座	開催中止
	10日(木)	西集会所	漢字の世界	開催中止
	17日(木)	地区センター	一人暮らしでも困らない講座	開催中止
	24日(木)	団地会館	漢字の世界	開催中止
	28日(月)	創成の里記念会館	シニアヨガ	開催中止
7月	8日(木)	西集会所	(株)明治「命を守る水、見直そう水分補給」	開催中止
	14日(水)	創成の里記念会館		29名
	15日(木)	地区センター	(株)明治「体は食べ物から出来ている」	開催中止
	29日(木)	団地会館	(株)明治「食べる事!人生100年時代を生きる」	16名
	26日(月)	創成の里記念会館	シニアヨガ	33名
8月	4日(水)	創成の里記念会館	俳句教室	開催中止
	5日(木)	西集会所		開催中止
	19日(木)	地区センター		開催中止
	26日(木)	団地会館		開催中止
	23日(月)	創成の里記念会館	シニアヨガ	開催中止
9月	8日(水)	創成の里記念会館	介護保険講話・口腔講話・サッポロスマイル体操	開催中止
	9日(木)	西集会所		開催中止
	16日(木)	地区センター		開催中止
	30日(木)	団地会館		開催中止
	27日(月)	創成の里記念会館	シニアヨガ	開催中止
10月	13日(木)	創成の里記念会館	花籠づくり	28名
	14日(水)	西集会所	絵手紙	14名
	21日(木)	地区センター		24名
	28日(木)	団地会館		9名
	25日(月)	創成の里記念会館	シニアヨガ	39名

11月	10日(水)	創成の里記念会館	ふまねっと	17名
	11日(木)	西集会所	感染症講話	15名
	18日(木)	地区センター	ふまねっと	27名
	25日(木)	団地会館	食育	16名
	22日(月)	創成の里記念会館	シニアヨガ	32名
12月	8日(水)	創成の里記念会館	クリスマス会	33名
	9日(木)	西集会所		15名
	16日(木)	地区センター		24名
	23日(木)	団地会館		13名
	20日(月)	創成の里記念会館	シニアヨガ	31名
1月	12日(水)	創成の里記念会館	新春輪投げ大会	13名
	13日(木)	西集会所		14名
	20日(木)	地区センター		15名
	27日(木)	団地会館		開催中止
	24日(月)	創成の里記念会館	シニアヨガ	開催中止
2月	9日(水)	創成の里記念会館	パーソナルカラー講座	開催中止
	10日(水)	西集会所	カーリンコン	開催中止
	17日(木)	地区センター	パーソナルカラー講座	開催中止
	24日(木)	団地会館	シニアヨガ	開催中止
	28日(月)	創成の里記念会館	シニアヨガ	開催中止
3月	9日(水)	創成の里記念会館	修了式	開催中止
	10日(木)	西集会所		開催中止
	17日(木)	地区センター		開催中止
	24日(木)	団地会館		11名
	28日(月)	創成の里記念会館	シニアヨガ	37名
合計				622名

② 地域福祉活動報告

令和3年4月1日～令和4年3月31日

支援先	主な支援内容	支援回数	参加人数
いけいけスマイルサロン	はつらつ体操・スマイル体操・ケンステップ	8回	57名
拓友会	はつらつ体操・スマイル体操・脳トレ	5回	44名
スマレクラブ	はつらつ体操・スマイル体操・レク	6回	50名
ひまわり体操クラブ	はつらつ体操・スマイル体操・ふまねっと	10回	81名
みずほ西公園サロン	はつらつ体操・スマイル体操・早口言葉	2回	18名
睦美会	はつらつ体操・スマイル体操・脳トレ	1回	17名
三町内会合同体操教室	包括講話・はつらつ体操・ふまねっと	1回	10名
七色の風クラブ	はつらつ体操・スマイル体操・脳トレ	6回	43名
花園クラブ	はつらつ体操・スマイル体操・脳トレ	14回	147名
イリーゼ屯田はつらつ体操教室	はつらつ体操・脳トレ	1回	3名
はつらつ体操 Zoom 倶楽部	体操・脳トレ	35回	145名
熟年クラブ	はつらつ体操・スマイル体操	1回	11名
合計		100回	712名

③札幌市機能強化事業

教室名	日程	場所	人数
はつらつ体操 ZOOM 倶楽部	7月21日	研修室	4名
はつらつ体操 ZOOM 倶楽部	9月8日	研修室	4名
はつらつ体操 ZOOM 倶楽部	9月15日	研修室	4名
ひまわり体操クラブ	11月1日	屯田三条西会館	9名
花園クラブ	11月2日	屯田二番通り東会館	10名
ひまわり体操クラブ	11月8日	屯田三条西会館	11名
花園クラブ	11月9日	屯田二番通り東会館	12名
ひまわり体操クラブ	11月15日	屯田三条西会館	11名
ひまわり体操クラブ	11月22日	屯田三条西会館	6名
花園クラブ	11月30日	屯田二番通り東会館	15名
合計			86名

④自主活動化支援事業

教室名	日程	場所	人数
とんいきシニア元気！アップ サポーター養成講座	12月6日	屯田福社会館	24名
とんいきシニア元気！アップ サポーター養成講座	12月13日	屯田福社会館	24名
合計			48名

⑤地区地域ケア会議

日程	場所	関係機関	内容
3月28日(月)	オニオンコート研修室 (ZOOM 開催)	屯田まちセン・区役 所・第3包括・道営季 実の里団地管理組合	屯田地区地域ケア会議

【支援回数】

内容	地域支援・地域活動回数
すこやか倶楽部	28回
地域支援（サロン・老人クラブ、町内会等）	100回
札幌市機能強化事業	10回
自主活動化支援事業	2回
地区地域ケア会議	1回
北区連絡会議	5回
地区連絡会議	9回
合計	155回

4 地域交流事業

(1) 方針について

今年度も定着しているリラクゼーションスペースとしての機能を継続し、マッサージ器3台設置と共にゆったりとして頂けるスペース作りを目指した。

リハビリテイメントマシンの「ワニワニパニック」・「太鼓の達人」・「どきどきへび退治」は、リハビリ麻雀・パチンコ・スロット、ビリヤードなどのリハビリ機器と共に、特養やグループホームの皆様にも娯楽やリハビリに利用頂いていた。

その他スペースの有効利用として、音楽療法やフラワーアレンジメント教室の場として日々活用も継続している。

又、機能訓練スペースとして、肋木や滑車、平行棒、エアロバイクなどのリハビリ器具も継続して利用して頂いた。

売店の販売品目の中にデイサービスの利用者様から要望があった「菓子」は好評で、買い物を楽しんで頂いている。

今後も感染対策を継続しながら喫茶・売店を含め、入居者・利用者もちろん、皆様に気軽にリハビリや娯楽に利用し楽しんでいただくことで、皆様のコミュニケーション、介護予防に繋がるスペースとして活用して頂きたい。

5 認知症対応型共同生活介護（グループホーム）

（1） 処遇方針について

- ・今まで生活してきた暮らしを基本に考え入居者様が安らぎを持って生活が送れるよう支援した。
- ・日常生活の中で役割や楽しみを持って生活して頂けるよう毎日の体操で体を動かす機会を作る事が出来たが、新型コロナウイルス状況でも感染対策をし、短い距離・時間で散歩等ができた。
- ・家庭で生活している様な雰囲気を中心掛り食事の盛り付け、食器等に配慮し季節感のある飾りつけや行事を行った。
- ・安全なケアを心掛けていたが、連絡・指示内容不足による事故が見受けられた。

（2） 年間目標について

- ① 認知症があっても心身共に安心した生活を送れる様な関りを心掛け健康的に生活が送れる様に支援した。
- ② 個々の残存機能を生かし認知症の改善や進行緩和に努めた。
- ③ 入居者様の特変やいつもと違った様子に気付けるように普段より入居者様の状況把握に努め特変時には直ぐに受診し、いつまでも施設での生活が送れる様に支援した。
- ④ 日々の様子や特変事項を明確に記録し、御家族様、職員間での情報共有に努めたが不十分な点もみられた。
- ⑤ ご家族様・入居者の意思を尊重し個々にあったケアプラン作成し、統一したケアを提供できるよう努めた。
ケアプランチェックを行い、支援を行った。
- ⑥ 新型コロナウイルスで施設外の研修はほぼ無く施設内の研修については積極的に参加した。
- ⑦ 新型コロナウイルス禍運営推進会議は書面やZOOMにて実施。行事等は感染予防対策を行い少人数での実施が出来た行事もあった。
- ⑧ 入所待機者確保の為に内部・外部からの情報収集を行う様に心掛けたが急な退所等もあり空床の期間も長くなり稼働率低下を最小限に抑える事が出来なかった。

（3） 年間計画

- ・概ね計画通り実施出来た。

（4） 個別誕生会報告

令和4年3月31日現在

実施月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
実施 件数	かっこう	0	1	1	1	1	0	0	1	0	0	2	2	9
	ゆり	0	1	1	2	0	0	1	1	1	1	1	1	10

(5) 事故・ヒヤリ事故報 2

① 件数報告

令和3年4月1日～令和4年3月31日

分類別事故報告	かっこう	ゆり	発生状況別事故件数	かっこう	ゆり
転倒・転落	3	2	介助中	6	10
ヒヤリ転倒・転落	7	5	臥床中	0	0
誤薬	3	2	自立動作中	19	13
傷・痣	38	73	その他・不明	26	60
ヒヤリ行方不明	0	0			
むせ・つまり	0	0			
その他		1			
合計	51	83	合計	51	83

② 内容・結果報告

令和3年4月1日～令和4年3月31日

日時	事故対象者		事故内容	結果
R3/ 4	入居者	かっこう	車椅子自操、自身の居室前にてブレーキをかけておらず前方に転倒	施設賠償の有・ <input type="radio"/>
R3/ 4	入居者	かっこう	自室にて物音あり、ベッド横にて転倒あり。左手首腫脹あり、左手首骨折。	施設賠償の有・ <input type="radio"/>
R3/ 5	入居者	ゆり	自室にて歩行器ごと転倒。鼻血多量に出血あり。鼻骨骨折の疑い。	施設賠償の有・ <input type="radio"/>
R3/ 9	入居者	ゆり	排便がなく坐薬挿肛行うも、下剤坐薬ではなく吐き気止め座薬を挿肛した。	施設賠償の有・ <input type="radio"/>
R3/ 9	入居者	かっこう	夕食後床に下剤が落ちているのを発見する。	施設賠償の有・ <input type="radio"/>
R3/ 11	入居者	ゆり	午前フロア掃除の際、カウンター下に錠剤が完全に表面が溶け落ちているのを発見。	施設賠償の有・ <input type="radio"/>
R3/ 11	入居者	ゆり	明け方入居者様起き、フロア内歩行時ふらつき転倒。職員他者介助中。	施設賠償の有・ <input type="radio"/>
R3/ 12	入居者	かっこう	排便があったが、カウント確認ミスにて下剤追加を行う。	施設賠償の有・ <input type="radio"/>
R3/ 12	入居者	かっこう	居室にて、転倒。身体痛みあるも骨折なし。	施設賠償の有・ <input type="radio"/>
R4/ 1	入居者	かっこう	薬箱の確認行くと、前日の就寝薬の飲み忘れがあることを発見する。	施設賠償の有・ <input type="radio"/>

(6) 苦情・ヒヤリ苦情、トラブル・ヒヤリトラブル報告

① 件数報告

分類別苦情相談件数	かっこう	ゆり	合計内容別苦情相談件数	かっこう	ゆり
苦情	0	0	ケアの内容	0	0
ヒヤリ苦情	0	0	施設のハード	0	0
相談	0	0	職員の対応	0	0
要望	0	0	その他	0	0
ヒヤリトラブル	0	2			
合計	0	2	合計	0	0

② 苦情内容・結果報告

苦情申し出者		申し出内容	結果
			第三者報告 有・無 未解決・解決

(7) 利用者状況

① 在所者状況

令和4年3月31日現在

在所者	2名	男性	16名	女性	合計	18名
-----	----	----	-----	----	----	-----

② 入居者年齢構成

令和4年3月31日現在(単位:人)

年齢 性別	年齢								計
	64以下	65~69	70~74	75~79	80~84	85~89	90~94	95以上	
男性	0	0	0	0	1	0	0	1	2
女性	0	0	0	0	0	9	7	0	16
計	0	0	0	0	1	9	7	1	18
率	0%	0%	0.0%	0%	5.5%	51.5%	49.5%	5.5%	100%
最高年齢	96歳10ヶ月		最小年齢	81歳3ヶ月		平均年齢		88歳7ヶ月	

② 入所前居所

令和4年3月31日現在(単位:人)

居所 性別	居所							計
	居宅	介護福祉施設	介護保健施設	介護療養施設	医療機関	社会福祉施設	その他	
男	1	0	1	0	0	0	0	2
女	8	0	3	0	2	2	2	16
計	9	0	4	0	2	2	2	18

⑦ 要介護度別利用状況

令和4年3月31日現在(単位:人)

要介護度 性別	要介護1		要介護2		要介護3		要介護4		要介護5		計		合計	平均介護度
	かつこう	ゆり												
男	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	2	2	3
女	1	0	2	3	3	1	2	2	0	2	9	7	16	2.7
計	1	0	2	4	3	1	2	3	0	3	9	9	18	3.3

⑤心身の状況

令和4年3月31日現在（単位：人）

寝たきり度 認知症自立度		寝たきり度判定基準					計
		自立	ランクJ	ランクA	ランクB	ランクC	
認知症自立度 判定基準	ランクI	0	0	0	0	0	0
	ランクII	0	1	5	0	0	6
	ランクIII	0	0	5	5	1	11
	ランクIV	0	0	0	2	0	2
	ランクM	0	0	0	0	0	0
計		0	1	10	7	1	19

⑥ 月別入居状況

令和3年4月1日～令和4年3月31日（単位：人）

性別	月												計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
男	0	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	3
女	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2
計	0	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	5

⑧ 入居者の動向

令和3年4月1日～令和4年3月31日（単位：人）

年 月	定 員	入 所	退所・退所理由			月末人員
			死亡	長期入院	その他	
3年4月	18	0	0	0	0	18
5月	18	1	1	0	0	18
6月	18	1	0	0	0	17
7月	18	1	1	0	0	16
8月	18	1	0	0	0	17
9月	18	1	0	0	0	18
10月	18	0	0	0	0	18
11月	18	0	0	0	0	18
12月	18	0	0	0	0	18
4年1月	18	1	0	1	0	18
2月	18	0	0	0	0	18
3月	18	0	0	0	0	18
計	216	6	2	1	0	212

⑨ 施設在所期間

令和4年3月31日現在（単位：人）

在所期間 性別	6ヶ月以内	6ヶ月～ 1年未満	1年～ 3年未満	3年～ 5年未満	5年～ 7年未満	7年～ 10年未満	10年 以上	計	平均 在所期間
	男	0	2	0	0	0	0		
女	1	2	4	5	3	0	1	16	5年7ヶ月
計	1	4	4	5	3	0	1	18	

最大 在所期間	10年11カ月	最小在所期間	5ヶ月未満	平均在所期間	5年2ヶ月
------------	---------	--------	-------	--------	-------

⑩ 入居者のADL状況

令和4年3月31日現在（単位：人）

		区 分	かっこう	ゆ り	合 計	
歩 行	自 立 歩 行		4	2	5	
	歩行補助具使用し(杖、歩行器・手押し車)自立		0	0	1	
	手引き・歩行器具使用し介助		2	2	2	
	車椅子使用	自 立	0	0	0	
		要 介 助	2	4	10	
食 事	自 立		8	6	13	
	一 部 介 助		1	1	2	
	全 介 助		0	2	3	
入 浴	状 態	自 立	0	0	0	
		一 部 介 助	8	4	11	
		全 介 助	1	5	7	
	形 態	一 般 浴	0	0	0	
		介 助 浴	9	9	18	
		特 浴	0	0	0	
着 脱	自 立		2	1	3	
	一 部 介 助		6	4	10	
	全 介 助		1	4	5	
排 泄	昼 間	トイレ使用	自 立	3	1	4
			車いす使用	3	5	8
			誘 導	3	2	5
		便器使用	自 立	3	4	7
			介 助	6	4	10
		おむつ使用（簡易おむつを含む）		7	8	15
	夜 間	トイレ使用	自 立	3	1	4
			車いす使用	3	3	6
			誘 導	3	4	7
		便器使用 (ポータブル含)	自 立	3	4	7
介 助			6	1	7	
おむつ使用（簡易おむつを含む）		8	8	16		
整 容	自 立		3	1	4	
	一 部 介 助		5	5	10	
	全 介 助		1	3	4	

※歩行・移動、排泄について重複あり

⑪ 月別入退院者状況

令和4年3月31日現在（単位：人）

入・通院	月												
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
入院者数	3	1	2	1	0	0	2	1	2	0	1	0	13
退院者数	1	0	0	0	0	0	2	2	0	1	1	0	7

⑫ 入院・通院状況

令和3年4月1日～令和4年3月31日（単位：人）

病院名	主な科目	通院者	入院者	病院名	主な科目	通院者	入院者
東徳洲会病院	内科			札幌北脳神経外科	脳外科		
	循環器科			麻生脳神経外科	脳外科	3	
	外科			麻生整形外科	整形外科	1	
	整形外科	2		新川新道整形外科	整形外科	3	
札幌百合の会病院	内科	589	7	篠路整形外科	整形外科	6	
	泌尿器科			五稜会病院	精神科	98	
	眼科			ちはる神経内科	神経内科	1	
	整形外科	83		新川まえた眼科	眼科	3	
				札幌医科大学病院	眼科	1	1
北海道泌尿器科	泌尿器科			ささと眼科	眼科	3	
JR病院	循環器	3		耳鼻咽喉科麻生病院	耳鼻科	1	
心臓血管クリニック	循環器	6	1	札幌大通リマチ内科	リマチ科	1	
札幌道都病院	内科		2	新道東フレンド整形	整形外科		
	外科			川嶋泌尿器科	泌尿器		
小林皮膚科	皮膚科	66		天使病院	内科		1
楨心会病院	脳外科	1		勤医協中央病院	内科		1
日の出歯科	歯科	13		合計		884	13

※ 入院理由内訳 ・内科/肺炎・心不全 循環器/ペースメーカー植込術 眼科/白内障

⑬ 診療科別入通院状況

令和3年4月1日～令和4年3月31日（単位：人）

月	科区分	科													計
		内科	外科	整形外科	皮膚科	泌尿器科	循環器科	脳外科	婦人科	精神科	耳鼻科	眼科	歯科	その他	
4	入院	2									1			3	
	通院	53		4						5		3		65	
5	入院	1													
	通院	35		3	8					6	1	2	2	57	
6	入院	2												2	
	通院	52		7	6		2	1		6				74	
7	入院	1												1	
	通院	39		7	6					6			2	60	
8	入院													0	
	通院	58		7	5					11		2	2	85	
9	入院													0	
	通院	49		9	6		2	1		14		2	1	84	

10	入院	2												2	
	通院	46		7	6			1		6				66	
11	入院	1												1	
	通院	57		6	6					8		1	1	79	
12	入院	1					1							2	
	通院	50		12	7		3	1		7		2	1	83	
1	入院													0	
	通院	36		14	8					7				65	
2	入院	1												1	
	通院	45		8			1			7		1		62	
3	入院													0	
	通院	69		10	8		1			15		1		104	
入院計		11					1				1			13	
通院計		589		94	66		9	4		98	1	8	13	2	884

⑭ ボランアの受入れ状況

令和3年4月1日～令和4年3月31日

区分	内容	前年度実績	年間件数	主な団体名
技術奉仕	縫い物など	有・無	0	
作業奉仕	シーツ交換・食事配膳他	有・無	0	
介助奉仕	行事手伝い・移動介助・クラブ活動手伝い他	有・無	0	
指導奉仕	なし	有・無	0	
その他	話し相手他	有・無	0	

⑮ クラブ活動状況

令和3年4月1日～令和4年3月31日（1回平均・単位：人）

クラブ名	参加人員			指導者等	開催状況
	ゆり	かっこう	計		
フラワーアレンジメント教室	1	2	3	フラワーひまわり 野宮 徳一氏	月1回（水）
音楽療法	9	9	18	音楽療法士 上田 氏	週1回（金）PM

⑯ 要介護度別稼働状況

令和3年4月1日～令和4年3月31日（1回平均・単位：人）

介護度	性別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要介護1	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	1	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	15
	計	1	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	15
要介護2	男	1	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1	9
	女	5	5	6	6	5	6	6	6	6	7	7	7	62
	計	6	5	6	6	6	8	8	8	8	8	8	8	85

要介護3	男	1	1	1	1	2	2	2	1	0	0	0	0	11
	女	0	0	1	1	2	2	2	2	3	3	3	2	21
	計	1	1	2	2	4	4	4	3	3	3	3	3	33
要介護4	男	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	10
	女	7	7	4	6	5	5	5	5	5	5	5	5	64
	計	7	7	5	7	6	6	6	6	6	6	6	6	73
要介護5	男	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	4
	女	3	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	25
	計	4	3	3	3	2	2	2	2	2	2	2	2	29
総合計	男	3 (90)	2 (61)	3 (30)	1 (31)	4 (62)	4 (60)	4 (62)	4 (30)	2 (31)	2 (31)	2 (528)	2 (62)	33 (518)
	女	15 (480)	16 (496)	15 (510)	17 (527)	14 (496)	14 (480)	14 (496)	14 (510)	16 (527)	16 (527)	16 (476)	16 (496)	138 (6021)
	合計	18 (540)	18 (527)	18 (540)	18 (558)	18 (558)	18 (540)	18 (558)	18 (540)	18 (558)	18 (558)	18 (504)	18 (558)	216 (6539)
	稼働率	93.33	89.06	97.39	94.22	90.11	100.0	97.11	98.33	99.61	94.09	91.57	98.21	95.25%

※数字は延べ人員（ ）内は実利用者数

⑩ 行事報告

令和3年4月1日～令和4年3月31日（単位：人）

月日	行事名	参加者	内容	反省・特記事項
4月14日 (水)	4月誕生会	両ユニット	誕生者なし 各ユニットにてお食事会をする。	新型コロナウイルス感染症防止の為、余興中止
5月5日 (水)	こどもの日 (端午の節句)	両ユニット	日本の伝統行事である子供の日をお祝いし楽しんで頂く	・ゲームは鯉のぼり玉入れゲームを行い楽しまれていた様子でした。
5月20日 (木)	5月誕生会	両ユニット	誕生者2名 各ユニットにて誕生者のお祝いをする。	新型コロナウイルス感染症防止の為、余興中止
6月25日 (金)	6月誕生会	両ユニット	誕生者1名 各ユニットにて誕生者のお祝いをする。	新型コロナウイルス感染症防止の為、余興中止
7月19日 (月)	7月誕生会	両ユニット	誕生者2名 各ユニットにて誕生者のお祝いをする。	新型コロナウイルス感染症防止の為、余興中止
7月30日 (金)	野外食	両ユニット	運営推進会議後、各ユニットにてジンギスカンを焼いて召し上がって頂き食後にはすいかの提供を行った。	・ユニット内にて開催しました。皆さんにジンギスカンを焼いている所をご覧頂きながら賑やかに過ごされ食事を楽しまれて頂いた様子でした。
8月7日 (土)	夏祭り	両ユニット	施設内 1F デイルームにて盆踊りやヨーヨー釣り、輪投げ、ボール投げに参加される。	ヨーヨー釣り等馴染みのあるゲームで皆さん楽しんでいました。アイス・わたあめ等召し上がり「おいしかった」と喜ばれていました。
8月8日 (日)	七夕	両ユニット	各ユニットにて七夕の由来を説明後、七夕さまの歌を合唱しゲームを行った。	・七夕星投げゲームを行い皆さん真剣に参加されていました。短冊の願い事を読んで頂く事で七夕の雰囲気・季節感を味わって頂いた様子でした。

月日	行事名	参加者	内容	反省・特記事項
8月14日 (土)	南瓜団子作り	両ユニット	ご家族様から頂いた南瓜で南瓜団子を作り、各ユニットにて焼いて召し上がって頂く。	南瓜団子を作る行程も見て頂き、各ユニットにて焼いて召し上がって頂いた。皆様「美味しいね」と大変喜ばれていました。
8月24日 (火)	8月誕生会	両ユニット	誕生者1名 各ユニットにて誕生者のお祝いをする。	新型コロナウイルス感染症防止の為、余興中止
9月18日 (土)	敬老祝賀会	両ユニット	米寿1名 記念撮影、お祝いの品を贈呈する。食事会后、両ユニットで歌の合唱とゲームを行った。	新型コロナウイルス感染症防止の為、余興中止 両ユニットで、ボーリングを行い、「楽しかった」と喜んで頂けた様子でした。
9月22日 (水)	9月誕生会	両ユニット	誕生者なし 各ユニットにてお食事会をする。	新型コロナウイルス感染症防止の為、余興中止
10月19日 (火)	10月誕生会	両ユニット	誕生者1名 各ユニットにて誕生者のお祝いをする。	新型コロナウイルス感染症防止の為、余興中止
11月18日 (木)	11月誕生会	両ユニット	誕生者2名 各ユニットにて誕生者のお祝いをする。	新型コロナウイルス感染症防止の為、余興中止
12月17日 (金)	12月誕生会	両ユニット	誕生者1名 各ユニットにて誕生者のお祝いをする。	新型コロナウイルス感染症防止の為、余興中止
12月24日 (金)	クリスマス会	両ユニット	各ユニットにてサンタコースボーリングゲーム、きよしこの夜、ジングルベルの歌の合唱をする。	ローストチキンは柔らかく大変好評でした。ゲームは歓声上がり盛り上がっていた。新型コロナウイルス感染症防止の為、恒例のちびっ子サンタ登場は中止となったが、クリスマスプレゼントを喜んで頂けた様子でした。
1月6日 (木)	もちつき	両ユニット	運営推進会議終了後、かっこうユニットにて恒例行事となった餅つきを行いました	皆様、意欲的に参加されており、餅がとてもやわらかく美味しかったと好評で大変喜ばれていました。
1月12日 (水)	1月誕生会	両ユニット	・誕生者1名 各ユニットにて誕生者のお祝いをする。	新型コロナウイルス感染症防止の為、余興中止
2月3日 (木)	節分	両ユニット	・節分の由来を説明した後、歌の合唱行いお手玉投げゲームを行った。終了後鬼が登場し豆まきを行った。	鬼が登場し大いに盛り上がり豆まきに皆さん力が入った。季節の雰囲気を感じてもらえて楽しまれていた。
2月21日 (月)	2月誕生会	両ユニット	・誕生者2名 各ユニットにて誕生者のお祝いをする。	新型コロナウイルス感染症防止の為、余興中止
3月3日 (木)	ひな祭り	両ユニット	ひなまつりの由來說明後、「うれしいひなまつり」を合唱しゲーム行う	ボーリングを行い、皆様平均的な点数を取る事が出来ていて盛り上がっていました。
3月25日 (金)	3月誕生会	両ユニット	誕生者3名 各ユニットにて誕生者のお祝いをする。	新型コロナウイルス感染症防止の為、余興中止

⑱ GH来訪者面会状況

令和3年4月1日～令和4年3月31日（単位：人）

月	目 的				合 計
	面 会	見 学	相 談	その他	
4	1	0	0	0	1
5	0	0	0	0	0
6	0	0	0	0	0
7	0	0	0	0	0
8	0	0	0	0	0
9	0	0	0	0	0
10	3	0	0	0	3
11	10	0	0	0	10
12	7	0	0	0	7
1	1	0	0	0	1
2	0	0	0	0	0
3	0	0	0	0	0
合計	22	0	0	0	22

⑲ 運営推進会議報告

令和3年4月1日～令和4年3月31日（単位：人）

実施月	開催回	実施日	実施内容	参加人数
5月	R3年度第1回	5/26	令和2年度事業報告について	6名
7月	R3年度第2回	7/30	はつらつ体操について	6名
9月	R3年度第3回	9/29	高齢者虐待について	6名
11月	R3年度第4回	11/30	感染症について	6名
1月	R3年度第5回	1/27	災害対応について	6名
3月	R3年度第6回	3/23	認知症の方への接し方について	8名

Ⅲ 各委員会報告

1 広報委員会

(1) 活動内容

- ・施設全体におけるその活動の広報、機関紙発行
- ・ホームページの運営

(2) 反 省

広報誌については、期限を守り発行することが出来ていた。またホームページで新着情報をPDFにより定期的な更新を意識し活動していく事ができた。更新頻度をもう少し増やしていく必要がある。

(3) R4年度活動予定

- ・施設内の広報誌の発行（年4回予定）
- ・ホームページの活用し、工夫したお知らせを行う。

2 身体拘束廃止・虐待防止委員会

(1) 活動内容

- ・身体拘束・虐待の状況把握(コールマット、サイドレール等の使用状況や傷・痣に伴う虐待へと繋がる可能性の把握と防止)
- ・身体拘束・虐待防止の研修(個人ワーク、グループワーク)

(2) 反省

- ・介護ミスによる傷や痣も見られたが、傷・痣にならないようセクション毎に常に意識できており、委員会内で報告する事ができた。
- ・事例検討を行えたが、今後も定期的実施していく必要がある。

(3) R4年度活動予定

- ・身体拘束・虐待の状況把握、不適切なケアや身体拘束廃止・虐待防止について・定期的に勉強会の実施。

3 研修委員会

(1) 活動

- ・毎月1回の施設内研修実施と設外研修により、職員の資質向上を目的とし行う。

(2) 反省

- ・コロナウイルス感染症により施設外研修は中止が相次ぎ、参加できなかった。
各委員会による研修を実施することにより、現状に即した研修内容で実施する事が出来とても良かったと思う。
また、複数回実施することによる参加及び資料の配布をすることにより、多くの方に情報を伝えられたと思う。

(3) R4年度活動予定

- ・新採用者への研修の実施の継続及び職員の基礎地知識・介護技術向上の研修を行う。
- ・研修について、セクション別、各ユニット別など、少人数での研修及び実技を複数回行うなど検討していきたい。
- ・施設外研修については、ZOOM等の研修を積極的に行く

4 行事实行委員会

(1) 活動内容

- ・行事の企画
- ・各セクションへの行事内容の伝達
- ・行事の反省により既存の行事の充実
- ・個別誕生会の企画・実施・報告

(2) 反省

- ・予定していた行事は新型コロナウイルスの感染予防対により、施設全体で集まって行う行事や外部の方を呼んでの余興鑑賞は中止する事が多かった。行事の時間や場所を分けて実施するなど、実施方法りや敬老祝賀会など実施する事ができた。
- ・各行事の反省をいかしながら、入居者様や利用者様の心身の状況を考慮して内容の変更を行う事ができた。
- ・個別誕生会は担当職員のシフト等によって誕生月に実施できない事があり、遅れながらも何とか実施ができるようにした。

(3) R4年度活動予定

- ・行事の立案、反省

5 防災・災害対策委員会

(1) 活動内容

- ・施設全般における防災計画、非難訓練の計画と実施、災害時の対策に関すること。
- ・防災訓練について、感染予防のため防災協会立ち合いの防災訓練を行わず机上訓練を実施。

(2) 反省

- ・感染予防の為、外部立合いの防災訓練を行わず机上訓練を行った。
- ・防火管理自主チェック表にて各セクションの防災意識向上に努めた。

(3) R43 年度活動予定

- ・防災、災害訓練の実施、防火管理自主チェック表活用による職員への防災意識強化

6 給食委員会

(1) 活動内容

- ・施設で提供する食生活全般に関すること。

(行事食の内容検討、日常の食事について意見交換と改善に向けての検討、嗜好調査、栄養ケアマネジメント報告)

(2) 反省

- ・行事食については、前年の反省や意見を元に現在の入居者様の状況を踏まえて、内容を一部変更し問題なく実施できた。
- ・日常の食事については、検食簿や各セクションの意見により、メニューや味付けなど厨房内で調整を行うも、改善できない事もあった。
- ・嗜好調査については、アンケート形式での実施は難しい為、委員が中心となって入居者様の意見や要望をもっと把握し、報告する場としていきたい。

(3) R4 年度活動予定

- ・食事についての意見交換、行事食の検討。

7 事故防止対策委員会

(1) 活動内容

- ・事故、ヒヤリハット件数の把握
- ・「ムセ込み・つまり」記録表を廃止。
- ・服薬ミスは事故やヒヤリの中で報告することに変更。
- ・オニオンコート「ヒヤリハット、事故の分類について」を検討、策定
- ・会議内で勉強会の実施（「ヒューマンエラー」「ヒヤリハットについて」「窒息について」「嚥下障害とトロミの種類について」「事故防止の考え方」「事故防止の為にルール決め」）

(2) 反省

- ・事故についての考え方を周知する為に勉強会を開催し、事故防止の考え方のきっかけにできたのではないかとと思われる。
- ・オニオンコートとしての「ヒヤリハットと事故の分類」を検討したことで、各職員が分類で混乱していた部分が少しずつ解消できたのではないかとと思われる。
- ・委員会の時間を有効活用する為に報告を事前提出に切り替えたが、呼びかけ不足で事前提出が不十分であった。
- ・事故防止に対しての具体的な対策を話し合うことができなかった。

(3) R4 年度活動予定

- ・ヒヤリハットと事故の新しい区別は新年度から導入の為、混乱しないよう周知に努めていく。
- また、事例を増やしていき、全職員が迷わずに分類できるようにしていく
- ・事故データを元に要因の分析をして再発防止に努めていく。
- ・事故防止の考え方への周知を継続していく。
- ・再発防止策、未然防止策について検討していく。
- ・委員自体が事故防止について具体的に発信できるよう活動の在り方について委員会内で検討していく。

8 感染対策委員会

(1) 活動内容

- ・感染症発生状況及び施設内環境の報告をし、情報の共有、対応策の検討・実施を行い感染症の蔓延防止に努めた。
- ・感染症の知識を深めるため、委員会の中で勉強会を行った。
- ・施設全般における環境衛生などの改善について検討、実施した。
- ・ノロウイルス対応マニュアルの見直し、作成を行った。

(2) 反省

- ・入居者様や職員の健康状態の把握を心掛け、体調不良時は看護師への報告が出来た。
- ・新型コロナウイルス感染症が全国で流行している中、職員の感染予防策の徹底と、職員の意識を高めることができ、感染症の発生、拡大なく経過できた。

(3) R4 年度活動予定

- ・全職員の意識を高めて、流行性疾患および食中毒の予防、蔓延防止に努める。
- ・感染症予防に関する研修を行い、知識を深める。新人職員への指導を行う。
- ・施設内環境の点検、改善について、感染対策委員が率先して点検を行う。
- ・マニュアルの見直しを行う。

9 褥瘡対策チーム会議

(1) 活動内容

- ・施設全般における褥瘡予防に関すること
- ・褥瘡の知識を深めるため、褥瘡委員が中心となり、勉強会の開催を行った。
- ・各部署の褥瘡発生者について、報告を行った。
- ・褥瘡発生・対策状況の表の見直し、作成を行った。

(2) 反省

- ・報告書を活用し、褥瘡発生状況、予防対策等の把握を行った。
- ・褥瘡発生者の事例報告を行い、振り返りを行った。
- ・褥瘡発生予防に努めたが、褥瘡の発生があった。また、直接ケアに携わる職員へのケア方法の統一が図れなかった。
- ・委員中心となり、勉強会を行う事で知識の向上をはかった。

(3) R4 年度活動予定

- ・褥瘡発生の危険因子とモニタリング指標の評価、予防計画書の作成により、入居者の褥瘡発生リスクの管理、および褥瘡予防策を継続実施する。
- ・褥瘡発生状況の把握を行い、褥瘡予防策、発生時の褥瘡ケアを実施する。
- ・一人一人の褥瘡ケアや予防に関する知識や技術の向上を目指して、研修を行う。

10 安全衛生委員会

(1) 活動内容

- ・ 職員の安全健康の確保、職場環境に関すること。
- ・ 10月～健康診断（1回目）を実施した。
- ・ 3月～健康診断（2回目）を実施した。
- ・ インフルエンザ予防接種を実施した。
- ・ ストレスチェックを実施した。
- ・ 新型コロナワクチン接種を実施した。
- ・ 福利厚生センターより情報提供を行った。

(2) 反省

- ・ 職場内の環境改善について、各セクションより意見を頂き改善することが出来た。
- ・ 福利厚生センターより年金や労災、健康増進事業についての情報提供を行った。
- ・ 健康診断、インフルエンザ予防接種は新型コロナの影響で遅れが生じた。

(3) R4年度活動予定

- ・ 職員の安全健康の確保、職場環境に関すること。
- ・ 福利厚生センターからの情報提供。
- ・ 各健康診断の実施、新型コロナウイルス予防接種及びインフルエンザ予防接種の実施

11 相談員連携会議

(1) 活動内容

- ・ 各部署の相談状況などの報告
- ・ 迅速な連携を図るための相談状況など情報共有
- ・ 業績をあげるための方法や方策を検討する

(2) 反省

- ・ 各セクションの現状を把握し情報共有することで、報告だけに終わらず連携を図ることはできたが、その後の結果を検証するまでには至らなかった。今後は施設内に留まらず地域への発信も意識する必要がある。

(3) R4年度活動予定

- ・ 各部署の相談状況などの報告を行い、法人全体の情報共有を図ることにより、稼働率の上昇やスムーズな入所につなげていく。
- ・ 地域向けの公開講座など情報発信を行い、広く多くの地域住民に法人のサービスを浸透させ、各サービスへと繋げていく。